

令和4年度

# 事業・決算報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

I. 事業報告

II. 決算報告(計算書類)

社会福祉法人

真光会

# 目 次

## I 事業報告

1. 概 要 .....	1
2. 事業実施状況 .....	3
(1) 会務の運営 .....	3
(2) 役員及び評議員の状況（令和5年3月31日現在） .....	4
(3) 令和4年度実施事業等 .....	4
3. 施設福祉部 .....	7
(1) 令和4年度 特別養護老人ホーム三和荘事業報告 .....	8
(2) 短期入所生活介護利用状況 .....	11
(3) 令和4年度 月別行事報告 .....	13
(4) 令和4年度 実習受入実績報告 .....	13
4. 在宅福祉部 .....	14
(1) 三和荘通所介護事業所 .....	17
(2) グループホーム三和の邑 .....	19
(3) 三和荘訪問介護事業所 .....	21
(4) 三和荘居宅介護支援事業所 .....	22
(5) 地域包括支援センター .....	24
(6) 三和荘ケアハウス .....	28
(7) グループホーム出水 .....	30
(8) デイサービスセンター出水 .....	32
(9) 三和苑デイサービスセンター .....	35
5. 事務部 .....	38
6. 災害対策・安全衛生管理・設備保守点検 .....	39
7. 職員研修の状況 .....	40
(法人決算報告書) .....	46
1. 財産目録（別紙4） .....	46
2. 法人単位資金収支計算書（第一号第一様式） .....	48
3. 法人単位事業活動計算書（第二号第一様式） .....	49
4. 法人単位貸借対照表（第三号第一様式） .....	50
5. 社会福祉事業区分資金収支内訳表（第一号第三様式） .....	51
6. 社会福祉事業区分事業活動内訳表（第二号第三様式） .....	52
7. 社会福祉事業区分貸借対照表内訳表（第三号第三様式） .....	53
8. 計算書類に対する注記（法人全体）（別紙1） .....	54
9. 補助金事業等収益明細書（別紙3(㉓)） .....	57

10.	基本金明細書（別紙3(⑥)）	59
11.	国庫補助金等特別積立金明細書（別紙3(⑦)）	60
	（三和荘拠点区分決算報告書）	61
12.	三和荘拠点区分資金収支計算書（第一号第四様式）	61
13.	三和荘拠点区分事業活動計算書（第二号第四様式）	64
14.	三和荘拠点区分貸借対照表（第三号第四様式）	67
15.	計算書類に対する注記（拠点区分）（別紙2）	68
16.	基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書（別紙3(⑧)）	71
17.	引当金明細書（別紙3(⑨)）	72
18.	三和荘拠点区分事業活動明細書（別紙3(⑩)）	73
19.	積立金・積立資産明細書（別紙3(⑪)）	74
	（三和荘ケアハウス拠点区分決算報告書）	75
20.	三和荘ケアハウス拠点区分資金収支計算書（第一号第四様式）	75
21.	三和荘ケアハウス拠点区分事業活動計算書（第二号第四様式）	77
22.	三和荘ケアハウス拠点区分貸借対照表（第三号第四様式）	79
23.	計算書類に対する注記（拠点区分）（別紙2）	80
24.	基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書（別紙3(⑧)）	82
25.	引当金明細書（別紙3(⑨)）	83
26.	積立金・積立資産明細書（別紙3(⑪)）	84
	（出水拠点区分決算報告書）	85
27.	出水拠点区分資金収支計算書（第一号第四様式）	85
28.	出水拠点区分事業活動計算書（第二号第四様式）	87
29.	出水拠点区分貸借対照表（第三号第四様式）	89
30.	計算書類に対する注記（拠点区分）（別紙2）	90
31.	基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書（別紙3(⑧)）	92
32.	引当金明細書（別紙3(⑨)）	93
33.	出水拠点区分事業活動明細書（別紙3(⑩)）	94
34.	積立金・積立資産明細書（別紙3(⑪)）	96
	（三和苑拠点区分決算報告書）	97
35.	三和苑拠点区分資金収支計算書（第一号第四様式）	97
36.	三和苑拠点区分事業活動計算書（第二号第四様式）	99
37.	三和苑拠点区分貸借対照表（第三号第四様式）	101
38.	計算書類に対する注記（拠点区分）（別紙2）	102
39.	基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書（別紙3(⑧)）	104
40.	引当金明細書（別紙3(⑨)）	105
41.	三和苑拠点区分事業活動明細書（別紙3(⑩)）	106
42.	積立金・積立資産明細書（別紙3(⑪)）	108

# I 事業報告

## 1. 概 要

(1) 当法人では、その使命・理念・基本方針の下、昨年度の努力目標に沿い、かつ「個別対応」「尊厳の重視」「自立支援」という介護・福祉の原点に立ち、職員一丸となって地域福祉の向上に努めてまいりました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症予防の観点から、法人主催の行事はそのほとんどを中止し、各事業所の行事も中止あるいは限定的にせざるを得ませんでした。そのような中でも、お花見ドライブやおやつ作りや紅葉ドライブなど、感染状況に応じて再開できた活動もありました。次年度はもっと荘外活動等を増やし、より楽しみを提供できたら良いなと思っています。また、ご家族とご利用者が感染状況に左右されずにいつでも面会できるように1階ホールに面会室を作りました。そのおかげで面会の回数を増やすことができ、ご利用者の笑顔の増加につながりました。

ご利用者・職員の新型コロナウイルスのワクチン接種や職員の定期的な抗原検査も前年同様に計画的に実施することができました。しかしながら、常日頃からの感染対策にも拘わらず、第8波の際には入所系の2施設でクラスターが発生してしまいました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したとしても、ウイルス自体が弱毒化したわけではありませんので、次年度も引き続き感染対策を継続します。

介護人材が不足する状況が続いていますが、就職フェアやインターネット等を活用した採用活動により、次年度の新卒者を採用することができました。また、数年前から計画していた外国人技能実習生（3名）をようやく2月に受け入れることができました。ちゃんと定着できるように次年度以降も職員全員でフォローしていきます。

設備面では、特養とケアハウスのLED工事、特養の全てのトイレの改修工事、本体建物の屋上塔屋の塗り替え工事、三和苑デイサービスセンターの防水塗装工事、厨房内リフト改修工事、ボイラーの交換工事等の整備を行いました。

(2) 施設介護（特別養護老人ホーム）では、令和4年度も従来から行っている自立支援やおむつに頼らないケアや認知症ケア等を継続しつつ、ご利用者の人としての尊厳の保持に努めました。

ご利用者の約半数が90歳以上、ご利用者の平均要介護度は4.0となっており、これは特養の高齢化・重度化が進んでいることを表しています。そのような中、取り組み開始から3年が経過したノーリフティングケアのおかげで、介護ロボットの活用やご利用者にあった福祉用具を適切に使用することができ、職員の身体的負担の軽減やご利用者の拘縮等の二次障害予防ができています。介護ロボットをより活用できるような職場環境にするために、ほとんど全てのトイレで介護ロボットを使用できるようにトイレの改修工事も行いました。介護ロボットの活用については、介護職の魅力を紹介した熊本県のPR動画（「介護職が、今スゴイ！」）にも採用されました。

看取りについては、令和4年度は5名の方を看取ることができました。前年度

から引き続き新型コロナウイルス感染症の予防の観点から面会の人数や時間を制限せざるを得ませんでした。できるだけご家族の思いに寄り添えることができたのではないのでしょうか。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターの影響もあり、例年を大きく上回る27名の方が退所され、入退所の期間が2週間以内になるようにすることは極めて困難でした。そのため、年間の利用率は目標値(95%)を大きく下回ってしまいました。ショートステイも前年度と同様に感染症予防の観点から新規利用を控えたため、利用率は20.8%と低い数値でした。

(3) 在宅介護も、前年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症の予防策に力を入れながらの業務でした。感染状況等に応じて荘外行事や事業所内でイベントを催したりすることにより、できるだけご利用者に喜んでもらえるように努めました。

また、在宅部においても、接遇の強化、自立支援、認知症ケア等のレベルアップに力を注ぐとともに、業務の改善にも力を入れて取り組みました。次年度以降、更なるレベルアップを図れたらと思います。また、各事業所、ワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境の構築やチーム力の向上にも力を入れました。

在宅サービス事業所の中にも、感染対策を採っていたにも拘わらず、第8波の際にクラスターが発生した事業所がありました。幸い重度化したご利用者はいらっしゃいませんでした。次年度以降も引き続き感染症対策を継続して安全・安心なサービスを提供できるように努めます。

在宅サービスの利用率については、コロナ禍の影響もあり、ほとんどの事業所で目標値を達成できませんでした。入所系のグループホームは3事業所とも目標値(95%)を超えることができませんでした。中でもグループホーム三和苑は前年度からの経営状況の悪化が続いていたことから11月末をもって事業休止をしました。通所系の3事業所も目標値(85%)を超えることができませんでした。それぞれの事業所で目標達成ができなかった原因を分析し、次年度の改善に繋げることが喫緊の課題です。

## 2. 事業実施状況

### (1) 会務の運営

#### ア 理事会の開催

第1回 理事会（令和4年5月23日 於 三和荘）

##### 議 題

- 1 理事長専決事項の報告について
- 2 令和3年度事業報告及び決算報告について
- 3 令和3年度事業及び決算報告に関する監事監査結果について
- 4 ゴーニング環境整備に係る入札業者の選定と契約締結について
- 5 評議員会の招集について

第2回 理事会（令和4年9月22日 於 三和荘）

##### 議 題

- 1 理事長専決事項及びその他の事項の報告について
- 2 運営規程の改定について
- 3 就業規則の改定について
- 4 グループホーム三和苑事業所の休止について
- 5 予算の補正について

第3回 理事会（令和4年12月2日 決議の省略）

##### 議 題

- 1 令和4年度予算の補正について

第4回 理事会（令和5年3月22日） 於 三和荘

##### 議 題

- 1 理事長専決事項とその他の事項の報告について
- 2 令和4年度予算の補正について
- 3 給食業務委託契約の更新について
- 4 職員の定年延長と55歳を超える職員の昇格昇給、職務継続について
- 5 就業規則の改定について
- 6 運営規程の変更について
- 7 令和5年度事業計画と予算について

#### イ 評議員会の開催

定時 評議員会（令和4年6月15日 於 三和荘）

- 1 令和3年度事業報告及び決算報告について
- 2 令和3年度事業及び決算報告に関する監事監査結果について

#### ウ 監事監査の実施

会計監査：令和4年5月10日 10：00～

業務監査：令和4年5月10日 15：00～

(2) 役員及び評議員の状況 (令和5年3月31日現在)

ア 役員

役職	氏名	当初就任日	就任日	備考
理事長	吉田 精華	2008. 5. 17	2021. 6. 15	
理事	後藤 道彌	2003. 1. 1	2021. 6. 15	
理事	森 章三	2005. 9. 22	2021. 6. 15	
理事	荒木 哲美	2010. 5. 27	2021. 6. 15	
理事	吉田 睦子	2017. 4. 1	2021. 6. 15	
理事	後藤 卓爾	2021. 4. 1	2021. 6. 15	三和荘施設長
監事(業務)	伊藤 圭子	2018. 7. 1	2021. 6. 15	
監事(会計)	戸田 強	2016. 3. 18	2021. 6. 15	

(理事・監事任期：令和3年6月15日  
～令和5年度6月定時評議員会の終結時)

イ 評議員

役職	氏名	当初就任日	就任日	備考
評議員	加藤 晃	2009. 9. 22	2021. 6. 15	
評議員	田山 智晶	2010. 5. 27	2021. 6. 15	
評議員	大津山 壽奈子	2014. 5. 23	2021. 6. 15	
評議員	東 道夫	2015. 5. 21	2021. 6. 15	
評議員	大野 敏子	2017. 4. 1	2021. 6. 15	
評議員	藤井 美千代	2021. 6. 15	2021. 6. 15	
評議員	篠原 美保	2021. 6. 15	2021. 6. 15	

(評議員任期：令和3年6月15日  
～令和7年6月定時評議員会終結時)

(3) 令和4年度実施事業等

- 4月1日 辞令交付式 2名
- 5月1日 三和荘永年勤続者表彰 (20年1名 10年3名)
- 5月10日 業務監査 会計監査
- 5月23日 理事会

- 6月1日 辞令交付 1名
- 6月9日 建築設備・防火設備・構築物点検
- 6月12日 特別養護老人ホーム三和荘 父母の会
- 6月15日 評議員会
- 6月21日 ゾーニング環境等の整備にかかる  
トイレ・シャワー室及び面会室改修工事 入札  
落札業者「キングラン九州株式会社」
- 7月1日 辞令交付 1名
- 7月2日 福祉の就職フェア 出展
- 7月5日 消防設備点検
- 7月7日 特別養護老人ホーム三和荘  
第26回参議院議員通常選挙 不在者投票
- 7月19日 エームサービス株式会社（給食業務委託会社）報告会
- 7月31日 ボイラー・循環浴配管洗浄
- 8月4日 新規学卒者 採用試験
- 8月25日 防犯カメラ設置
- 9月1日 辞令交付 1名
- 9月19日 デイサービス 台風のため休止
- 9月16日 中途採用試験
- 9月21日 消防訓練  
建設設備不良箇所修理
- 9月22日 理事会
- 10月3日 辞令交付 2名
- 10月16日 電気保安点検
- 10月17日 新規学卒者採用試験 事務職
- 10月19日 フィールドスタディ 1名
- 11月7日 特別養護老人ホーム三和荘  
熊本市長選挙 不在者投票
- 11月18日 出水事業所 三和苑デイサービスセンター 複合機新規入替
- 11月21日 三和荘居宅介護支援事業所 複合機入替
- 12月1日 グループホーム三和苑 事業休止
- 12月7日 トイレ・シャワー室及び面会室改修 竣工検査
- 12月11日 株式会社大野商事様よりクリスマスケーキ52個寄贈
- 12月23日 特別養護老人ホーム三和荘  
新型コロナウイルス感染症クラスター発生  
終息日1月11日 (20日間)
- 1月10日～2月15日  
ボイラー交換工事
- 1月16日～2月27日  
三和荘屋上塔屋塗り替え工事  
三和苑デイサービスセンター防水塗装工事
- 1月19日～20日  
特別養護老人ホーム三和荘・三和荘ケアハウス LED工事
- 1月23日～24日  
三和荘厨房内リフト改修



- 1月31日 グループホーム出水  
新型コロナウイルス感染症クラスター発生  
終息日2月10日(11日間)
- 2月1日 外国人技能実習生受入 3名
- 2月3日 熊本市実地指導
- 3月13日 防災訓練
- 3月20日 新型コロナウイルス感染症  
クラスター発生時対応職員 特別手当支給
- 3月22日 理事会
- ※2月・3月に職員の抗原検査実施

### 3. 施設福祉部

令和4年度の特別養護老人ホームでは、自立支援・認知症ケア・経口維持支援・おむつ外し・看取り・多職種連携の6つの中心的なケアを大切に、サービスの質の向上に努めてまいりました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、職員一人ひとりが感染予防策を意識し対策を講じてきましたが、12月中旬に感染者が発生し、瞬く間にクラスターとなりました。職員16名、ご利用者37名が罹患し、そのうち10名（関連死含む）のご利用者が亡くなりました。年間行事も感染予防の観点から昨年同様ご家族の参加は控えていただき、ご利用者と職員だけで行いました。行事の様子はオンライン（YouTube）を活用して見ていただくようにしました。また、コロナ禍で外出がほとんどできなかったため、グループ活動や個別の活動（散歩や製作活動等）を充実させ、その様子を毎月の「三和荘便り」に載せることができました。面会は、10月に面会室が完成し、感染リスクに左右されることなく、より近くで面会ができるようになりました。

ノーリフティングケアの定着は、動画によるマニュアルの整備を行い、新人職員や中途採用職員等への周知を行うことで、職員の理解・意識改革を図ることができています。また、介護ロボット等の物品が充実したことで、ご利用者にあった福祉機器を使用することが定着し、ご利用者・職員共に身体の負担軽減に繋がっています。

認知症ケアについては、各グループ会議で事例を通して話し合い、個別のケアに繋がりました。

また、看護職を中心に「褥瘡0（ゼロ）」を目指して多職種で取り組み、褥瘡の改善に努めました。なかなか「褥瘡0」を達成することができていませんが、どのようにしたら褥瘡ができるのか一人ひとりが意識し、皮膚状態の確認や定期的な除圧を行うことができています。今後も褥瘡防止委員会を中心に話し合い、褥瘡ケアについて周知徹底を図ります。

看取りについては、今年度は5名の方を看取ることができました。24時間の日課表を作成し多職種で看取りケアに取り組みました。面会はコロナ禍ではありましたが、ご家族にも手洗いや手指消毒等の感染予防の協力を得て行いました。人数制限・時間制限もありましたが、「こんな形で合わせてもらえてよかった」とご家族からお言葉をいただき、最期の時までご家族の思いに寄り添えたのではないかと思います。

事故防止にも取り組みました。昨年度誤薬防止策として、配薬の際に一人ずつ入れるタイプのケースを使用するように変更してから服薬漏れは減りましたが、取り間違いが4件発生しています。また、センサーの不具合や場所の関係が原因である転倒事故が3件起こっています。転倒事故は、夜間や朝方が多いため、対応の検討をして行きます。事故発生の度に検討会を行い、再発防止に努めました。

特養の利用率については年間平均87.6%で、95%を超えた月はひと月でした。今年度は誤嚥性肺炎や体調不良での入院、新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生や後遺症での退所、体調不良での退所もあり、今までの数よりも多く、退所者が27名おられました。年度末だったこともあり、退所後2週間以内の入所が難しい状況でした。また、職員数の減少等により、新規入所者の受け入れが難しい状況が続いたことも稼働率低下につながった原因の一つと考えられます。

ショートステイの利用率は、新型コロナウイルス感染症予防のために新規利用を控えたこと、また新型コロナウイルス感染症クラスター発生により利用を制限

したことにより、平均 20.8%となりました。今後も居宅支援事業所との良好な関係作りに努めてまいります。

人員確保の取り組みとして、昨年度に引き続きエルダー・メンター制度を採用入れ、中途採用職員へOJTを行いました。定着出来た職員は1名のみであり、思うような効果は得られませんでした。離職防止と共に今後の課題です。

## (1) 令和4年度 特別養護老人ホーム三和荘事業報告

### ① ご利用者一人ひとりに優しく接し、メリハリのある生活を提供します

三和荘接遇マニュアルを基に、身だしなみ、言葉遣い、挨拶、態度、表情について、接遇委員会で2カ月に1回の目標(スローガン)を掲げ、取り組みを行った。言葉遣いに関しては、職員全員で意識することで、気持ちの良い言葉遣いを心掛けることが出来た。ご利用者の整容については、月2回整容週間を設け、チェックシートを活用し行うことが出来た。しかし、実施する職員に偏りが生じ、今後の課題として残った。メリハリのある生活の提供については、新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、カラオケや小グループの活動、一昨年度実施が出来ていなかった映写会についても定期的実施することが出来た。次年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めながら、外出行事等も取り入れていきたい。

ショートステイ利用時の自立支援や個別機能訓練については、一人一人に合った支援を行い、生活リハビリを中心に、在宅へスムーズに戻っていただけるように支援出来た。

### ② ノーリフティングケアの継続と、介護技術の向上を図ります

全職員が、ノーリフティングケアの基本について理解し、習得することについては、人員不足により研修時間の調整が難しいため、動画によるマニュアルを整備し、新人職員や中途採用職員等へ周知を行った。また、コアメンバーを中心に、再度手技等の確認を計画したが、人員不足により実施出来ていない所があった。介護ロボット等の物品が充実したことでご利用者にあった福祉用具を使用することが出来、職員の介護負担の軽減や、ご利用者の拘縮等の二次障害予防に繋がっている。認知症ケアについては、各グループ会議で事例を通しての話し合い、個別のケアに繋げることができた。

中途職員に対し、エルダー・メンター制度を活用し、OJT研修を行い、指導・育成に努めたが、思ったような効果は得られなかった。

### ③ 職員満足度向上のため、リフレッシュ休暇(3日連続有給休暇)の取得を促します

常勤勤務者へのリフレッシュ休暇(3日連続有給休暇と公休とで連続5日休)の取得については、計画的には出来なかったが、昨年同様全常勤勤務者が取得することができた。また、タブレットの導入で、記録のペーパーレス化ができ、時間の短縮につなげることができた。インカムの導入により、情報の共有・業務の効率化は少しずつではあるが出来てきている。

### ③ 特養年間利用率95% ショートステイ年間利用率50%を目指します

今年度の特養の利用率は、平均87.6%で、95%を超えた月はひと月だった。毎月の入所判定会で、次期入所に向けて第5順位まで待機者を確定することができ、退所後2週間以内の入所調整がほぼ出来ていたが、12月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、死亡による退所、後遺症や体調不良での

退所が続いたことが利用率の低下につながっている。また、職員の人員不足により、新規入所の受け入れが出来ていない状態である。ご利用者の健康管理については、昨年同様 37.5℃以上の発熱が見られた際には、感染隔離を行い施設内での抗原検査を行い対応した。重症化予防として、早期発見・早期治療に努めたが、誤嚥性肺炎や怪我による入院があった。長期入院にならないように小まめに病院の連携室と連携を図り、情報の収集を行ったが、回復されない方が多く退所が続いたため、目標の達成には届かなかった。

ショートステイの利用率は、新型コロナウイルス感染症予防で新規利用を控えたこと、また新型コロナウイルス感染症クラスター発生により、利用を制限したことにより、平均 20.5%にとどまり、目標の達成には至らなかった。

#### ア 入所者年齢別内訳

令和 5 年 3 月 31 日現在

年齢	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計(人)
男	1	1	2	1	1	1	1	0	8
女	0	1	4	4	9	14	5	2	39
計	1	2	6	5	10	15	6	2	47

平均年齢 87.8 歳

#### イ 地域別入所者内訳 熊本市 47 名

#### ウ 入所者身体状況

	全面介助	一部介助	認知症	入院者
男	3	4	8	0
女	19	20	37	2
計	22	24	45	2

車椅子使用者 39 名 手引き歩行 1 名 歩行器使用者 7 名 歩行自立 2 名  
杖使用者 3 名

#### エ 要介護度別状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	3	3	2	8
女	1	0	10	14	14	39
計	1	0	13	17	16	47
	2.1%	0.0%	27.7%	36.2%	34.0%	100.0%

平均要介護度 4.0

#### オ 入退所状況

	入所	退所
男	3	3
女	19	24
計	22	27

### 令和4年度 特養日々入所者数

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
入所	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51	51	51	51	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	52	52	52	52	52	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
入所	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	49	49	49	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	3	3	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	3	3	3	3	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
入所	50	50	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	49	48	48	48	48	48	48	48	48	48	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	48	48	48	48	48	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	46	46	47	47	47	47	47	47	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	47	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	51	51	51	51	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	2	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	50	49	49	48	48	46	45	45	45	45	45	45	45	45	45	44	43	43	43	43	43	43	43	42	42	43	43	43	43	43	
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	4	3	4	3	4	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	7	6	6	6	6
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	42	42	42	42	42	42	42	43	43	43	42	42	43	43	43	43	44	43	43	43	43	43	43	43	43	42	42	43			
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5			
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入所	43	43	43	43	43	43	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	43	43	43	44	44	44	45	45	45	45	45	46	46	47
特別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	5	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 令和4年4月1

(2) 短期入所生活介護利用状況

令和4年度

	収容力(A)	延利用者数(B)	利用率(B)/(A)	実利用者数	特例利用者	
	(注1)	(注2)	(注3)	(注4)	延人数	実人数
4年 4月	540	155	28.7%	20	0	0
5月	558	141	25.2%	18	0	0
6月	540	124	22.9%	18	0	0
7月	558	133	23.8%	23	0	0
8月	558	150	26.8%	18	0	0
9月	540	101	18.7%	22	0	0
10月	558	121	21.6%	15	0	0
11月	540	99	18.3%	15	0	0
12月	558	102	18.2%	13	0	0
5年 1月	558	5	0.8%	1	0	0
2月	504	104	20.6%	16	0	0
3月	558	126	22.5%	17	0	0

注1:「収容力」=ショートステイ用に整備したベッド数×月の日数

注2:「延利用者数」とは1日あたりの利用者数を1ヶ月間積み上げた人数

注3:「利用率」小数点2位以下切り捨て

注4:「実利用者数」とは1ヶ月間に利用した人の実数

「特例利用者」の延人数とは1日あたりの特例利用者数を1ヶ月間積み上げた人数

「特例利用者」の実人数とは1ヶ月間の特例利用者の実数

	最多利用日の延利用者数	最小利用日の延利用者数
R4年 4月	11	2
5月	7	1
6月	7	2
7月	7	0
8月	9	2
9月	7	1
10月	7	1
11月	7	0
12月	7	0
R5年 1月	1	0
2月	6	0
3月	9	0

令和4年度 短期入所日々入所者数

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
利用	4	4	3	5	5	5	3	5	9	8	8	7	7	7	5	6	5	7	11	8	4	2	3	3	4	2	3	3	4	5		
																														155		
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
利用	4	5	6	5	5	4	6	6	6	7	5	7	7	5	4	5	6	4	4	3	6	5	5	3	3	3	2	1	1	3	5	
																															141	
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
利用	5	3	2	6	5	7	6	5	6	5	4	2	2	3	5	5	2	4	4	4	5	5	4	3	3	3	3	5	4	4		
																															124	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
利用	2	5	5	6	6	4	5	7	7	6	6	5	3	3	3	3	2	2	5	4	4	0	3	3	3	5	4	6	6	5	5	
																															133	
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
利用	6	5	5	5	2	2	2	3	7	9	8	5	4	3	3	3	4	3	3	7	7	7	8	5	7	5	6	4	5	4	3	
																															150	
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
利用	3	2	2	2	5	5	4	3	2	5	4	3	2	3	3	1	2	3	2	4	4	6	6	7	5	4	4	3	1	1		
																															101	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
利用	1	1	4	6	6	5	4	7	6	6	6	3	4	3	4	3	5	5	3	5	3	4	2	4	3	4	3	2	4	3	2	
																																121
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
利用	2	3	3	3	5	5	4	3	2	1	0	3	3	3	2	1	3	4	7	7	7	7	5	6	2	2	1	1	2	2		
																															99	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
利用	2	2	5	5	5	7	4	2	1	2	2	2	4	4	3	3	5	5	5	5	5	5	4	4	3	3	2	2	1	0	0	
																																102
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
																																5
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				
利用	3	3	4	6	5	5	3	5	6	5	5	5	5	4	3	6	5	5	5	5	5	4	0	0	0	0	0	0	2			
																																104
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
利用	4	4	2	5	5	4	5	4	3	1	4	5	5	3	4	4	4	9	5	6	5	4	3	0	3	3	5	6	5	4	2	
																																126

※ 令和4年4月1日～令和5年3月31日までの1日平均入所者数

$$1,361 \div 365 = 3.7 \text{人}$$

施設の令和4年度の入所者数の平均値 45.5 人

短期入所の令和4年度の利用者数の平均値 3.7 人

施設と短期入所の合算 49.2 人

令和5年度必要な直接処遇職員の員数  $49.2 \div 3 = 16.4$  人

(看護職員+介護職員)

看護職員 2人+1人以上

夜勤職員 2人+1人以上

(3) 令和4年度 月別行事報告

月	日	行事名	参加人数	家族参加者数	ボランティア数
4	24	中央・東グループ「お花見」	13	新型コロナウイルス感染症対策のためご利用者・職員のみで実施	
6	12	父母の会	51		
	15	「あじさいドライブ」	7		
	20	「あじさいドライブ」	4		
	27	「あじさいドライブ」	4		
7	18	西グループ「岬鯨」	11		
	20	「そうめん流し」	27		
	26	西グループ「ペットボトルボーリング大会」	6		
8	25	「夏を楽しもう！すいか割、おやつはかき氷！」	46		
	27	西グループ「紙芝居」	8		
9	11	敬老会	50		
	20	西グループ「パフェづくり」	8		
10	14	西グループ「レッツゴー！ゆめマートへ買物だあ！」	1		
	26	西グループ「お好み焼き作り」	7		
	27	合同グループ「熊本新港ドライブ」	8		
11	9	合同グループ「買物(ゆめマート)」	2		
	18	西グループ「どら焼きづくり」	15		
	21	合同グループ「紅葉ドライブ」	5		
12	11	餅つき・忘年会	49		
R5.2	3	西グループ「節分」	9		
	24	東・中央グループ「岬鯨」	18		
3	29	中央グループ「お花見ドライブ」	8		

(4) 令和4年度 実習受入実績報告

大原保育医療福祉専門学校熊本校 1名 (20日間)



## 4. 在宅福祉部

令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、各事業所で職員やご利用者の感染者が報告されました。また勤労職員の変動や入院、けがにより職員体制が整わない事業所もあり、その都度対応を行い職員の定着が課題となりました。コロナ禍の影響もあり利用率も目標に届かなかった事業所も多かったです。以下、要点をまとめて報告します。

### 地域包括支援センター

コロナ禍で地域ケア会議や研修、意見交換会はリモートでの開催を行いました。地域行事や元気クラブ等の活動が自粛、中止など余儀なくされていたが感染症が落ち着いている時は再開された所も増えてきた。相談件数は約5000件あり、内容は介護保険の申請についてが最も多く約4200件でした。他に認知症についての相談が増え、虐待や介護者の心身の疾患により支援が必要なケースも増え、西区福祉課と保健子ども課と連携して対応しています。事業所内ではチーム力の向上を図り、各職種の担当業務を全職員が把握するようにスキルアップにつなげました。また働きやすい職場環境づくりとしてストレスケアの勉強会を実施し、アンケート調査でストレスチェックを定期的に行いました。相談しやすい地域の窓口となるよう接遇にも力を入れ、地域の方や関係機関との関わりを大切にしました。

### 三和荘居宅介護支援事業所

認知症ケアについて他事業所と勉強会を行い、BPSDについて学び倫理や接遇マナー向上にも力を入れ、在宅支援への助言につなげました。新たにはACPに取り組み、ご利用者やご家族の声を尊重して安心して人生の終末期を過ごせるように努め、ケアマネジメント能力の質の向上に向けて、全員で取り組みました。コロナ禍の影響で入院や入所も増え、目標としていた一人あたり35件の利用数も下回り、平均30～32件に留まった。今後は各機関や地域の方から紹介していただけるように、多様な事例に対応していきたいと思えます。

### 三和荘ケアハウス

コロナ禍の影響で地域活動に合わせた行事が中止になったり、ケアハウスで感染者も出て外出も自粛気味となり、予定していたパンフレットの広報活動ができなかった。入所者の認知症状が出る方が増えて対応に迫られ、会議等で認知症の勉強会を行い個々に応じた対応を行いました。入所者や来荘者と良い関係を築けるように接遇マナーにも力を入れ、言葉づかいや態度等に注意を払いながら接遇を行ったが、改善点の指摘もあり意識して接することを心がけました。働きやすい環境の職場にも努め、休暇取得も計画的にでき心身のリフレッシュを図ることができました。

### 三和荘訪問介護事業所

ご利用者との信頼関係を築き良いサービスを提供できるよう、会議等で勉強会を行いました。満足度を高めるため聞き取り調査も行ったが、評価は良かったが苦情も数件あり、その都度対応を迫られるところもありました。目標とした月間援助数200件は新規利用者も少なかったため維持することはできず利用者数も減った。職員の高齢化もありサービス提供において急な休みにも対応できるよう、良好なチームワーク作りを行えるように日頃からコミュニケーションを図り、相談しやすい環境や雰囲気作りを心がけ、スムーズに代行も行えました。

### 三和荘通所介護事業所

業務の役割や担当を決め、3M（ムリ、ムダ、ムラ）を軸に改善に取り組みました。担当職員の発想とまわりの意見で改善点も増え、すべてを改善することはできなかつたが、各職員が意識して疑問に思っているところを優先的に改善していき、チーム全員が意識して取り組むことができました。そして今年度は職員の胸元に名札を付けるようにして、ご利用者やご家族から名前を覚えて呼ばれるようになり、相談や頼まれごと等で名前を出され浸透していることがわかりました。目標とした年間利用率85%は達成できず69.5%でしたが、毎月の広報誌の発行や居宅への挨拶まわりの成果も感じており、今後も利用率アップにむけて努めていきたいと思ひます。

### グループホーム三和の邑

グループホーム三和苑の休止にともない、11月下旬より入所者3名、職員3名が邑に入所と異動となった。それぞれの業務のあり方やケアの方針の違いもあり、円滑に業務が進まず混乱するところもあったが、少しずつ話し合いを重ね改善に努めています。入所者や職員がお互いに心地よく過ごせるように接遇にも力を入れていたが、職員の変動もあり接遇チェックシートを作成して改善を図りました。感染症にも職員4名が新型コロナウイルス感染症に、職員と入所者合わせて5名がインフルエンザにかかり、他に入院とか怪我により勤務体制が整わない日もあり、感染予防対策を図り健康管理に努めていきたいと思ひます。利用率の目標95%以上を達成することはできませんでした。

### デイサービスセンター出水

デイ会議や申し送りノートの活用により情報の共有を図り、一人ひとりのケアプランに基づいた支援を行いました。自立支援の視点から個別対応の援助ができ、PDCAサイクルを用いて根拠に基づいた支援ができました。接遇にも力を入れ、言葉づかいや態度、表情に気をつけて、ご利用者やご家族、来所者へ接することを心がけました。目標とした利用率は職員やご利用者の新型コロナウイルス感染、自粛等の影響もあり向上することはできませんでした。SNSの発信や地域への情報発信、各関係機関との連携を図り利用率アップを目指していきたいと思ひます。

### グループホーム出水

入所者の対応についてパーソンセンタードケアやユマニチュードの理念に基づき、会議等で勉強会を定期的に行い、心身の状況データを取りながら実践し、認知症ケアの対応につなげることができました。接遇にも力を入れ、ひと月事に目標を設定し振り返りも全員で行いました。勉強会を開催し接遇チェックシートを作成して自他ともに結果をグラフ化して確認し合い、接遇の向上につなげることができました。1月29日から2月10日にかけて新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生し、ご利用者5名と職員1名が感染しました。いずれも軽症であったがADL低下につながった方もいて、今後も新型コロナウイルス感染症予防に努めていきたいと思ひます。利用率目標の95%は達成できなかったが、SNSでの情報を週1回のペースで行うことにより問い合わせを増やすことができ、施設見学や入所申し込みにつながった事もありました。

### 三和苑デイサービスセンター

パーソンセンタードケア、ユマニチュードの理念の実践に努め、その中で接遇の基本となるあいさつや言葉づかいを定期的に評価し、ご利用者やご家族の方との信頼関係の構築に努めました。また良好なチームワーク作りのためにコミュニケーションを取り、お互いの連携や情報の共有を図り理解し合えるように行いま

した。業務負担の軽減を図るべく役割や担当を明確化し、ご利用者のケアには共有した情報でケアを行うことでスムーズに展開でき、ケアに対する負担の軽減が図れました。コロナ禍にある中、職員やご利用者にも数名感染者が出たが、感染予防を図りながら業務を遂行することができました。利用率は前年度以上達成できなかったが、今後もケアマネジャーやご利用者、ご家族、地域の方との関わりを大切にして利用率アップにつなげていきたいと思ひます。

グループホーム三和苑（12月から休止に伴い11月までの事業報告となる）

三和苑のケア理念を毎朝復唱し、入所者への尊厳の念を頭に入れて接するようにして、生活の中で職員が主体とならずに自発的に入所者が考え、判断できるような声の掛け方を行いました。その考えや思いを知りながら、実現できるように工夫しながら支援に努めました。接遇も丁寧な言葉づかいや元気のよい挨拶を心掛け、毎月接遇チェックシートを提出し自己評価を行い、点数化することで効果もありました。チーム力アップのためには各個人が自分の役割を知り、他の職員と連携、分担することで効率性も高められ仕事に取り組みました。会議等では勉強会に力を入れ、学習会の内容を職員間で持ち帰り個々に勉強することができました。また毎月事例検討を行い、適正なケアが行えているか意見交換し共通の認識を得てケアに取り組みました。11月末をもって休止となる前は入居者の移転準備や施設内の整理整頓等職員の力を合わせて行いました。

以上、在宅部の報告でしたが、どの事業所も新型コロナウイルス感染対策、職員の定着、そして利用率のアップと課題が残る年度となりました。次年度へ向けてこの課題を少しでも改善できるよう取り組んでまいりたいと思ひます。

## (1) 三和荘通所介護事業所

### ①名札を必ず付け、ご利用者、その他関係者に名前でご呼んでいただきます

名札は必ず着用が出来ている。忘れてる職員がいても、職員間で声を掛け合う職場環境が出来上がっている。

ご利用者、ご家族への対応の際にも効果は顕著に見えており、ご利用者からは特に「誰に頼みごとをすればよいか分からない」といった、以前から良く聞かれていた相談は現在『0』になっている。またご家族からもそれぞれの職員の名前が良く聞かれるようになっており、職員の名前が浸透していることが感じられている。

職員も、ご利用者、ご家族から名前と呼ばれると、「背筋が伸びる思いがする。」「送迎の時にもきちんと挨拶しなければと思う」等、意識が高くなっている。

### ②ケアプランに沿った機能訓練を職員全体で実施します

全てのご利用者のケアプランを職員一人一人が把握する事は難しいと考え、ご利用者おひとりおひとりに担当者を設け、担当者から「どのような機能訓練を望まれており、何をすべきか」を発信する仕組みを作った。

担当者によってその成果にバラつきはあるものの、ご利用者、ご家族のニーズに沿った機能訓練を職員全体で実施出来るようになってきている。

### ③実用的な手引きを活用し、無理なく、わかりやすい職場にします

昨年に引き続き、入浴、食事、ホール業務、レクリエーション、看護、機能訓練、環境整備の7つの業務にそれぞれ担当を決め、業務改善を実施した。

今年度に於いては担当職員の発想が活発になり、それぞれの思う改善点が増加し、全てを改善することが出来なかった。

それでも、新人職員が疑問に感じている個所を優先的に改善していき、わかり安い職場をチーム全体が意識し取り組むことが出来た。

### ④年度平均利用率85%を達成します

年間利用率は69.4%と大きく目標を下回った。

しかし、新規利用者は年度内で16名となっており、8月9月1月は新規の相談はなかったものの、9ヶ月において新規の相談があった。毎月の広報誌の刊行や毎月の居宅への挨拶周りの成果が上がっていると感じる。

一方で停止者は年度内11名と新規を下回っている。

## ア 月別利用状況

### (ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	26	27	25	26	25	25	23	24	27	306	25.5
月間利用者数	54	53	54	53	50	51	52	53	52	55	57	55	639	53.3
月間延利用者数	518	525	541	532	496	531	546	557	546	521	501	559	6373	531.1
1日平均利用者数	19.9	20.2	20.8	20.5	18.4	21.2	21.0	22.3	21.8	22.7	20.9	20.7	20.8	20.8
利用率	66.4%	67.3%	69.4%	68.2%	61.2%	70.8%	70.0%	74.3%	72.8%	75.5%	69.6%	69.0%	69.4%	69.4%

(イ) 要介護度別利用状況（延利用人員）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	216	199	194	167	155	201	180	170	160	148	173	169	2132	177.7
要介護2	102	113	137	152	106	116	109	117	111	118	126	184	1491	124.3
要介護3	84	94	97	104	125	110	145	151	164	158	104	101	1437	119.8
要介護4	4	3	3	0	0	0	0	1	9	7	8	9	44	3.7
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	406	409	431	423	386	427	434	439	444	431	411	463	5104	425.3

(ウ) 要支援者利用状況（延利用人員）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
事業 対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援1	23	16	16	20	17	16	16	15	17	10	14	17	197	16.4
要支援2	89	100	94	89	91	88	96	103	85	80	76	79	1070	89.2
合計	112	116	110	109	108	104	112	118	102	90	90	96	1267	105.6

イ 三和荘通所介護事業所における業務の取り組み

①送迎

送迎ボード・カードを用いて人数や送迎時間を細やかに考慮した配車を行った。不定期利用のご利用者への対応も行い、スケジュール管理も担当ケアマネジャーと連携しミスのないよう努めた。個別の送迎時間への対応も継続して実施した。助手席への乗降に足台を準備して事故防止に努めた。車両乗り込みの前にご利用者の体温測定を行い、新型コロナウイルス感染対策を行った。

またアルコールチェッカーを使用し、飲酒運転への対応も行った。

②健康チェック

血圧・体温・脈拍を測定してその日の健康状態を把握するのはもちろんのこと、自宅での状態把握にも努めて新型コロナウイルス感染症対策を行った。急変時にはご家族やケアマネジャー等の関係者と連絡をとり、病院受診などの早期対応に努めた。服薬に関しては、ご本人の名前の確認を行い、誤薬予防を行った。

③レクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症予防のため、荘外活動を自粛したこともあり、施設内で実施できる活動を工夫した。（桜花見茶会、職員、ご利用者が出し物をする敬老会など）

④食事

食事前には必ず誤嚥予防のため食前に口腔体操を実施した。また、野菜から食べることが血糖値の上昇を抑えることや汁物から口に入れることが誤

嚙防止になるなど啓発を行った。

ご利用者の要望に応えるために、調理委託業者を交えた給食委員会を毎月実施して連携を図り対応した。(3ヵ月に一度)

イベント食の際には、食事準備のデモンストレーションも実施した。ご利用者からも「より美味しく感じられる」との言葉が上がっている。

#### ⑤入浴

自宅での入浴を希望されているご利用者のアセスメントを実施し、ケアマネジャー含めた多職種連携にて、希望の実現ができた。また、個浴槽に簡易グリップを装着することで、ご利用者の安全性を向上させた。

入浴介助の自立支援を推進し、介助量が少なくなり、ご利用者から、「自分で出来るようになって嬉しい」といった声が多く寄せられている

#### ⑥機能訓練

ケアプランに沿った機能訓練目標を設定し、カンファレンスを実施し、多職種による会議を実施した。また、バーサルインデックス (BI) を活用して、よりご利用者の現状把握に役立てている。

#### ⑦静養・物理療法・マッサージ

整容スペースの布団を1組減らし、感染対策に努めた。物理療法の順番を決めトラブル防止に努めた。使用箇所の消毒も徹底し、新型コロナウイルス感染症予防に努めた。

#### ⑧生活相談

精神的な不安や経済的な不安など、多くの個別課題(悩み等)を持つ方もおられ、事案により、じっくりと傾聴し、内容によってはご家族や居宅担当者、そのほか関係機関とも適宜連絡・調整を行い、その課題解決や不安の軽減に努めた。

#### ⑨通所介護計画書の作成・実行

計画書への署名捺印の不備をなくすため、ケアプランを事前に頂き、担当者会議時には通所介護計画書を持参し、同時に署名捺印をして頂く工夫を行った。個別機能訓練計画書も同様に行った。また各計画書の職員への周知も重要視し、職員名簿を活用し周知に努めた。

#### ⑩その他

地域ケア会議に作業療法士が参加し、地域福祉に貢献することができた。

## (2) グループホーム三和の邑

### ①接遇のスキルアップを図り、ご利用者、職員が心地よく過ごせるようにします

接遇マナーチェックシート作成はしなかった。ご利用者、職員の入れ替わりが多く、事故が続いてしまい、ご家族からの苦情があった。そのことについて、会議で皆で話し合い、チェックシート作成を行い改善に努めた。

### ②認知症ケアの質の向上を図ります

事業所会議にて2か月おきに勉強会を行い、各職員に担当してもらい、勉強会の内容を考えてもらったが、後半は合併や、職員移動の為開催できなかった。

### ③ノーリフティングケアを実施し腰痛予防を行い現職員長く心地よく働いてもらえるようにします

ノーリフティングケアの勉強会については開催することができなかった。ベッド上でスライドシートやグローブを使用し、ご利用者・職員の負担軽減を図った。

④利用率 95%を目指します

ご利用者の体調不良による入院、入所待機者の現状把握や意向確認では、すぐに入所される方がおらず期間が開いてしまったことなどから、利用率目標の95.0%以上は達成できなかった。今後は、医療との連携を深める等体調管理に努め、利用率維持を図る。

ア ご利用者の状況

令和5年3月31日現在

性別	男性 0名 女性 8名
平均年齢	86.5歳 (最高年齢94歳、最低82歳)
認知症の分類	アルツハイマー型認知症 7名    レビー小体型認知症 0名 前頭側頭型認知症 0名    加齢による認知症 1名
認知症の程度	I…0名    IIa…1名    IIIa…6名    IIIb…1名
要介護度	要支援 2…0名    要介護 3…3名 要介護 1…2名    要介護 4…0名 要介護 2…3名    要介護 5…0名 (平均要介護度 2.12)

退所者 9名    退所日 4/2    6/7    9/8    10/3    10/22(2名)    1/10    2/7    3/12  
入所者 8名    入所日 7/17    10/29    11/3    11/10    11/13 (2名)    1/27    3/10

ウ 月別行事実績

月	行 事
4月	健康診断、鯉のぼり見学・食事会(三和荘敷地内)
5月	父母の会(お寿司)
6月	紫陽花ドライブ(住吉神社)、
7月	七夕(食事会・レクリエーション)、コロナワクチン接種(4回目)
8月	スイカ割り、たこ焼きパーティー
9月	敬老会(巻き寿司作り)
10月	秋の味覚会
11月	焼き芋、コロナワクチン接種
12月	クリスマス・忘年会(ピザトースト、ケーキ作り)
1月	食事会、コロナワクチン接種
2月	節分、バレンタイン(おやつ作り)、梅見ドライブ
3月	ひな祭り

1ヶ月2回・・・訪問看護(たんぼぼ)訪問

エ 会議実績

事業所会議・・・毎月1回 第1水曜日(18:00~19:00)  
11月~第2週曜日不定期(10:00~11:00)  
運営推進会議・・・2か月に1回(奇数月)  
新型コロナウイルス感染症予防のため書類にて行った。

## オ 勉強会

歯科勉強会・・・月1回

身体拘束廃止及び高齢者虐待防止勉強会・・・2か月に1回

認知症勉強会・・・2か月に1回

### (3) 三和荘訪問介護事業所

#### ①ご利用者の尊厳を大切にされたサービスを実践します

接遇に関するアンケート調査を2回実施。満足度を上昇させるために、聞き取り調査を行ったり、職員の意識を高めるため、ヘルパー会議では接遇についての学習会を行った。ご利用者からの評価は高かったが、本音を聞く事ができず、苦情が数件あった。ご利用者との信頼関係がより、良好になるように努めていきたい。

#### ②ご利用者個々の状況に応じ、他職種連携での専門性に基づいたサービス提供を行います

ご利用者の日々の様子を観察し、身体面や精神面に変化が見られないか確認を行い、報連相の徹底と情報の共有ができるように努めた。また、プランに沿ってサービスが提供されているのか再確認し、状況に応じてケアマネジャーに報告等行うよう努めた。

#### ③意見が言いやすく相談しやすい環境をつくり、働きやすい職場環境をつくります

急な休みにも対応できるよう代行を配置し、安心できる職場環境を整えるよう努めた。(感染症などの疑いがある場合は速やかに報告を行い対応した)  
職員の体調確認や精神的負担を軽減するために、普段からコミュニケーションを図り、相談しやすい環境を心掛けるように努めた。

#### ④月間援助件数 200 件を維持、継続できるようにし、利用率の安定を図ります

毎月の派遣予定表の数を減らさないよう努力したが、入院するご利用者や施設入所などが増えたため達成できなかった。

入院中のご利用者の派遣時間帯に、期間限定で支援を追加したり、新規依頼があり長期での契約が難しい場合でも、一時的に入院中のご利用者の時間帯に利用できるよう提案したりして、利用率の安定を図るよう努めた。

ご利用者が安全に在宅生活を継続できるように、病気や転倒リスクを軽減するため、必要事項の確認や、環境整備などを行った。



ア ホームヘルパー派遣状況

区分	派遣世帯数		派遣回数				派遣時間			
	要介護	要支援	要介護			総合事業	要介護			総合事業
			身体介護	生活援助	身体生活		身体介護	生活援助	身体生活	
4月	21	16	33	69	18	67	20.00	54.30	16.75	60.75
5月	20	13	32	74	23	57	20.80	58.58	21.08	39.75
6月	23	17	35	86	20	82	22.83	69.25	18.00	47.10
7月	23	16	24	84	23	72	17.30	65.58	20.75	49.01
8月	22	16	27	96	16	76	19.41	75.58	15.00	53.50
9月	22	17	25	95	15	80	18.30	74.50	14.00	53.50
10月	10	19	20	94	14	87	15.60	72.00	13.00	56.58
11月	21	16	19	96	11	76	13.58	75.50	10.25	52.25
12月	23	17	21	91	14	79	17.60	70.25	13.00	53.58
1月	22	17	22	83	12	79	16.30	64.50	11.00	52.15
2月	21	19	21	77	16	85	17.25	60.25	14.30	56.30
3月	21	17	19	85	19	87	19.41	65.75	14.50	53.05
合計	249	200	298	1030	201	927	218.38	806.04	181.63	627.52
平均	20.75	16.67	24.83	85.83	16.75	77.25	18.20	67.17	15.14	52.29

イ 熊本市高齢者生活援助事業（R4年4月～）

○ 実績なし

ウ ヘルパー会議実施・学習会状況

開催日時：毎月第3水曜日 16:00～17:00

参加者：後藤きよみ 松田佳代 松永智子 建石富美子 佐藤朝美

4月	5月	6月	7月
事業所年間計画・取組み 介護保険法改正について	防災・救急法について	食中毒 感染症対策について	調理実習
8月	9月	10月	11月
虐待防止について	リスクマネジメントについて	認知症・精神・うつ病の 対策や対応について	調理実習
12月	1月	2月	3月
コミュニケーションと接遇 について	ユマニチュードについて	取組み課題まとめ	今年度の反省 次年度の取組み検討

(4) 三和荘居宅介護支援事業所

① 一人ひとりの寄り添う姿勢を大切にします

倫理に基づき、専門職をして接遇マナーを守りながら、各自業務を行った。居宅会議の中で、「倫理」「接遇マナー」について学び、年2回自己評価を行った。

今後も自己の実務に関する振り返りをして「倫理」「接遇マナー」について学んでいく。

② ケアマネジメントの質の向上に向けて全員で取り組みます

「認知症ケア」については、BPSDについて学び、他事業所と年2回情

報交換を交えた勉強会を行った。「適切なケアマネジメント」は、今年度初めて研修会に参加したが、令和6年度の介護保険改定に関係し求められている項目であり、引き続き取り組んでいく。

新たに「ACP」に取り組み、ご利用者・ご家族のメッセージを尊重し、安心して人生の終末期を過ごせるよう努める。

③ 仕事の効率化・協力体制が取れるように整えます

週1回、居宅会議の中で情報交換を行い、担当ケアマネジャーが不在でも対応できるようにした。「業務継続計画（BCP）」の作成は、製作段階のため、令和5年度の課題として取り組む。

④ 平均利用者数を1名当たり35件以上確保します

コロナ禍の影響で入院や入所、死亡者が多く、平均30～32件とでした。

今後も病院や包括等から紹介していただけるよう、多様な課題にも対応し信頼構築に努めます。

ア 担当者会議実績（件）

4月	10	7月	7	10月	11	1月	6
5月	11	8月	5	11月	9	2月	3
6月	9	9月	5	12月	7	3月	11

イ 要介護別利用者数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
38	32	17	4	4

ウ 介護予防への移行者数（人）

4月	0	7月	0	10月	0	1月	1
5月	0	8月	1	11月	0	2月	0
6月	1	9月	0	12月	1	3月	0

エ 令和4年度ケアプラン作成年間実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	66	64	66	64	61	58	59	62	59	53	59	61	732
地域密着型 通所介護	16	16	15	14	14	15	14	16	15	15	13	15	178
通所 リハビリ	16	16	17	17	17	15	15	14	12	12	11	11	173
訪問介護	40	39	42	43	41	40	39	43	39	37	34	35	472
訪問入浴	1	0	0	1	2	2	2	3	3	2	1	1	18
訪問看護	11	11	13	14	15	16	15	17	17	17	11	13	170
訪問 リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応 型通所介護	4	5	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	38
福祉用具 貸与	68	67	70	69	71	70	66	71	68	59	62	67	808
短期入所生 活介護	17	13	13	11	11	11	10	12	8	5	15	16	142
短期入所療 養介護	2	2	2	0	1	2	1	0	0	0	2	2	14
福祉用具 購入	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	7
住宅改修	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4
新規契約	2	2	4	2	1	3	1	1	0	2	3	3	24
案件数	105	103	106	103	104	103	98	102	96	85	87	89	1181

(5) 地域包括支援センター

①「相談しやすい地域の窓口」となるよう努力します。

三和荘接遇マニュアルを基に地域包括支援センターの業務内容に沿ったものに内容を変更する。作成の手順としては、基本となるものを作成し、事業所内で意見を伺い修正した。また、事業所会議内で接遇やコミュニケーションスキル向上のための研修を実施した。電話対応では相手に配慮した対応を行い、来客対応では対応する職員だけでなく、事業所内の雰囲気づくりに力を入れた。

②自立支援へ向けた取り組みを積極的に行います。

勉強会は月1回の事業所会議で実施。職員のスキルアップや自立支援に繋がるよう、各専門職から勉強会を実施した。自立支援型地域ケア会議では、年間12ケースのところを15ケース行った。包括職員は一人2事例を提出し、自立支援へ向けたケアプランになるよう検討した。新規申請の相談があったケースは2名体制で状況確認を行い、リハビリ専門職派遣事業や短期集中予防サービスなどを検討し、介護保険ありきの対応にならないようにした。令和4年度はリハビリ専門職派遣事業は6件、短期集中予防サービスは13件とこれまでより増えている。また、短期集中予防サービスを終了された方へは、昨年立ち上がった住民主体の通所サービスへ移行している。

③チーム力の向上を図り、働きやすい職場環境作りを目指します。

担当者不在時でもスムーズに対応できる取り組みを行った。令和4年9月に「担当者不在時困っていることは？」とアンケートを取った。その人でないできない業務や包括職員として知っておくべき業務の把握が必要といった意見

が挙がる。まず各職種の主な担当業務を全職員で把握するため「能力開発シート」を作成し個人で入力を行う。シートを確認すると、各専門職でないと対応できないこともあった。今後はシートを活用しながらスキルアップが求められる。職員のストレスケアでは、アンケート調査で職員のストレスチェックを行った。ストレスケアの勉強会を実施し、ストレスへの対応方法を学んだ。

④地域や関係機関との関りを大切に、住みよい地域づくりに貢献します。

地域や関係機関との関りの場として年4回協議体を開催し、情報共有及び地域課題への取り組みの推進を図る。通いの場や自治会会議、民生委員児童委員協議会や各専門職連絡会へ積極的に参加する。また、地域の通いの場や生活支援サービスをまとめた「私のまちの便利帳」の作成・更新を行い、包括内での共有や行政やケアマネジャーへ配布をする。災害時や感染等における業務継続計画(BCP)を作成、圏域内のケアマネジャーと共有する。定期的に修正を行う。

ア 介護予防マネジメント

- ① 利用者数 要支援1 1157人 総合事業のみ利用 387人  
           要支援2 1120人 総合事業のみ利用 249人  
           総合事業のチェックリスのみの事業対象者 77人
- ② 介護予防サービス計画作成の委託状況  
     地域包括支援センターで作成 1606人  
     居宅介護支援事業所に委託 672人
- ③ 介護予防サービス計画の委託先 30事業所

イ 総合相談・支援業務の実施状況

① 相談件数(延べ件数)

項目	相談の形態						合計		
	電話		来所		訪問		新規	継続	計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
1) 在宅福祉生活に関する事	3	4	1			1	4	5	9
2) 介護保険に関する事	108	2,161	19	111	17	1,800	144	4,072	4,216
3) 保健医療に関する事	8	311	1	7		63	9	381	390
4) 認知症に関する事	7	63		6		13	7	82	89
5) 権利擁護(虐待関連含む)に関する事	3	68	1	5		36	4	109	113
6) 家族問題に関する事		28	1	7		2	1	37	38
7) 経済的な問題に関する事		6		3		8	0	17	17
8) 居住環境に関する事	4	18	2	2		7	6	27	33
9) 在宅高齢者福祉事業に関する事	1	16				2	1	18	19
10) 包括的継続的ケアマネジメント支援業務に関する事	3	94		11		38	3	143	146
11) その他	10	74	2	10	1	29	13	113	126
合計	147	2,843	27	162	18	1,999	192	5,004	5,196

② 新規相談者の内訳

項目	年齢区分					合計
	64歳以下	65～74歳	75～84歳	85歳以上	不明	
1) 在宅福祉生活に関する事		1	1		2	4
2) 介護保険に関する事	5	28	50	39	29	151
3) 保健医療に関する事	2	2	2	3		9
4) 認知症に関する事		1	5	1		7
5) 権利擁護(虐待関連含む)に関する事	1		1		2	4
6) 家族問題に関する事	1					1
7) 経済的な問題に関する事						0
8) 居住環境に関する事	1	2		1	2	6
9) 在宅高齢者福祉事業に関する事	1					1
10) 包括的継続的ケアマネジメント支援業務に関する事						0
11) その他			4	4	1	9
合計	11	34	63	48	36	192

区分	延べ件数			合計
	電話	来所	訪問	
本人	17	8	13	38
配偶者	8	3		11
子ども	32	6	2	40
兄弟	4	1	1	6
親族	5			5
地域住民(自治会等)	2	1		3
民生委員	8	4	2	14
ケアマネージャー	29	3		32
事業者・施設等	24		1	25
その他	18			18
合計	147	26	19	192

③ 介護保険に関する事(延べ件数)

項目	相談の形態						合計		
	電話		来所		訪問		新規	継続	計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
① 申請等の手続きに関する事	69	255	12	29	12	200	93	484	577
② 認定内容に関する事	9	181		5	1	66	10	252	262
③ サービス内容に関する事	4	94	1	9	1	95	6	198	204
④ 保険料・利用料に関する事		19		1		3	0	23	23
⑤ その他	26	1612	6	67	3	1436	35	3115	3150
合計	108	2161	19	111	17	1800	144	4072	4216

④ 権利擁護に関する事(延べ件数)

項目	相談の形態						合計		
	電話		来所		訪問		新規	継続	計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
① 成年後見制度に関する事		12		3		10	0	25	25
② 老人福祉施設等への措置に関する事						2	0	2	2
③ 虐待への対応に関する事	2	44	1			13	3	57	60
④ 困難事例への対応に関する事		4		2		1	0	7	7
⑤ 消費者被害の防止に関する事							0	0	0
⑥ その他	1	8				10	1	18	19
合計	3	68	1	5	0	36	4	109	113

⑤ 在宅高齢者福祉事業に関すること

項目	電話		来所		訪問		合計			申請数		サービスの適用数	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	計	新規	継続	新規	継続
① 高齢者安心支援事業	1						1	0	1			1	0
② 高齢者生活援助事業							0	0	0			0	0
③ 家族介護用品支援事業		6					0	6	6			5	0
④ 高齢者及び障害者住宅改造成事業関係							0	0	0			0	0
⑤ ひとり暮らし高齢者訪問事業		2					0	2	2			0	0
⑥ 寝具無料乾燥事業		8				2	0	10	10			0	0
⑦ 養護老人ホーム入所措置							0	0	0			0	0
合計	1	16	0	0	0	2	1	18	19	0	0	6	0

⑥ 包括的ケアマネジメント支援業務に関すること

項目	相談の形態						合計			
	電話		来所		訪問		新規	継続	計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続				
1) 介護支援専門員の日常業務に関する個別指導・相談	2	20			1		10	2	31	33
2) 支援困難事例等への個別指導・相談	1	74			10		28	1	112	113
合計	3	94	0	11	0	38	3	143	146	

ウ 権利擁護

- ① 西区権利擁護勉強会 毎月1回 第3金曜日（まほろば館）  
※権利擁護研修会（リモート開催）
- ② 消費者被害研修（各研修会、つどいの場で広報活動、ささえりあ新聞）
- ③ ささえりあ新聞で成年後見制度について掲載
- ④ 西区コア会議3回開催
- ⑤ 西区虐待対応研修（リモート）
- ⑥ 熊本県高齢者権利擁護基礎研修会（計5回）

エ 包括的・継続的ケアマネジメント

- ① ケアマネジャーの後方支援  
\*主任ケアマネジャーの会での研修会1回（ハラスメント研修）  
\*日常的個別指導・相談を随時受け付け必要に応じ、同行訪問、巡回訪問、事例検討を行い必要に応じ関係機関と連携を行う。  
\*介護支援専門員と医療機関との研修会（4回）  
（排便障害、緩和ケア、栄養・口腔、訪問診療）  
\*西1圏域内「居宅との見守り会議」（2回）  
\*西区包括居宅全体会の研修（1回）（対人援助のための相談面接技術）  
\*自立支援型地域ケア会議開催 15回（会議室とリモート併用）  
\*課題解決型地域ケア会議の開催 7回
- ② 地域との連携体制作り  
\*老人会の例会、サロン、敬老会への参加  
\*ロコトレ（月2回） \*グラウンドゴルフ（10回）  
\*校区社協との定例会（偶数月の開催、三和会 年6回）  
\*民生委員の定例会（月1回）…11回開催（1月中止）  
\*校区自治協議会・・・池上自治協  
一水会（城山自治協）

高橋自治協（令和4年度開催なし）

【運営推進会議】

- \* 夢眠グループホーム
- \* グループホーム三和の邑
- \* グループホーム三和苑
- \* 流泳館
- \* グループホーム潤
- \* 小規模多機能かがやき
- \* 上代成城グループホーム響き

オ その他

① 認知症について

- \* 認知症サポーター養成講座 熊本西高等学校 228名  
肥後銀行 12名  
城山5町内 14名

② 広報誌など広報活動

広報誌の発行4回

ホームページへの掲載12回

高齢者見守り事業（3校区、町内毎に見守り会議の開催、把握できていない方への戸別訪問）

③ 家族介護者教室

- \* ささえりあ講演会 1回（公正証書と遺言、任意後見契約）

④ 実習

- \* 九州中央リハビリ看護学校 実習生6名  
医師会看護学校 実習生4名

(6) 三和荘ケアハウス

① 接遇マナーを向上させます

日頃から職員間で接遇について、良かった点や改善点などをお互いに伝えたり、“常に見られている”という意識を持ち、特に姿勢・態度・言葉遣いに注意を払いながら接遇を行った。また、来荘者（ご家族など）の対応では、マスクで顔・表情が見えづらい分、常に笑顔で思いやりとおもてなしの心を持って、接することを心掛けた。入居者に対しては、感染予防に努めた上で、あえて近い距離間で親しみやすい接し方を取り入れ、良い関係性を築くことができた。

② 認知症の方への対応力を強化します

他事業所の専門職による勉強会を4回実施していただき、対応力の強化を図ることができた。1回目は、「バイステックの7原則」について、2回目は、「認知症の方への言葉の伝え方」について、3回目は、「実際に困っている対応を検討しよう」について、4回目は、「認知症の方への対応に自信が持てる」について、講義していただき、認知症についての知識や対応について学ぶことができた。

③ ワーク・ライフバランスを意識した休暇取得を図ります

ケアハウス職員が健康を保ち、長く仕事を継続していくために、1ヶ月に

1回、有給休暇を取得することができた、また、法人の取り組みで連続3日の有給休暇も取得し、心身面のリフレッシュを図ることができた。

④満室を継続させるための広報活動を強化します

地域の方々にケアハウスの存在を知ってもらうために、ささえりあ・地域コミュニティセンター・公民館、病院などにパンフレット等の配布を検討していたが、ケアハウスでの新型コロナウイルス感染者が出たり、新型コロナウイルス感染予防のため地域活動とあわせた行事が中止となったこともあり、広報活動が行えなかった。

ア 入所者年齢別内訳（令和5年3月31日現在）

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	0	1	3	4	8	87.6	101	73
女性	1	1	6	9	17	87.1	98	66
合計	1	2	9	13	25	87.2		

イ 在所期間

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計	平均 在所期間
男性	1	2	1	3	1	8	4年5か月
女性	1	4	8	2	2	17	6年
合計	2	6	9	5	3	25	5年6か月

ウ 在宅サービス等利用状況

	ホームヘルパー	デイサービス	デイケア	訪問看護	リハビリ	ショートステイ
男性	4	4	1	1		1
女性	12	11	2	1		
合計	16	15	3	2	0	1

エ 入・退去者の状況

入居者 2名（男性：1名、女性：1名）

退去者 2名（男性：0名、女性：2名）

退去理由： 他施設（2名）、死亡（0名）、入院（1名）

オ 待機者の状況

男性3名・女性7名・夫婦1組

カ 週間行事

絵画クラブ(第1・第2月曜)中止(新型コロナウイルス感染症対策)
買い物ツアー(毎週火曜)中止し、買い物支援に変更(新型コロナウイルス感染症対策)、3月から再開
書道クラブ(第2・第5水曜)中止(新型コロナウイルス感染症対策)
華道クラブ(第2・第4木曜)入居者のみ
遊びクラブ(月2回)
機能訓練(月3回) 血圧測定(毎月第3週) 映写会(月1回)



## キ 月別行事

4月	ドライブツアー(花見)・映写会
5月	健康診断・菖蒲湯・母の日の行事・映写会・認知症勉強会
6月	父の日の行事・映写会・ケアにて食事会・接遇マナー勉強会
7月	七夕行事・映写会
8月	映写会・納涼会(かき氷)中止(新型コロナウイルス感染症対策)
9月	敬老の日の行事・映写会・ケアにて食事会
10月	映写会・バスツアー中止(新型コロナウイルス感染症対策)
11月	映写会・避難訓練(昼間)・認知症勉強会
12月	忘年会中止(新型コロナウイルス感染症対策)・ゆず湯・餅つき(デイサービスにて)
1月	初詣中止(新型コロナウイルス感染症対策)・映写会・接遇マナーの勉強会
2月	節分豆まき・映写会・認知症勉強会
3月	映写会・避難訓練(夜間)・ドライブツアー(花見)

### (7) グループホーム出水

#### ①誰から見ても模範となるような接遇を徹底します

昨年同様グループホーム会議で、ひと月ごとに接遇の目標を設定し、目標の振り返りを全職員で行い、毎日業務日誌に目標を記入して日々目標の確認ができるようにした。また、担当職員による勉強会を開催したり、接遇チェックシートを再作成して自己チェックと他者チェックの結果をグラフ化し可視化したうえで自己の接遇の見直しに繋げることができた。改善は見られており、OJTにも取り入れながら今後も継続していく。

#### ②認知症ケアの対応力を向上させます

認知症の種類や対応の仕方、パーソンセンタードケアやユマニチュードに基づいたケア、自立支援介護の実践ができるように年4回勉強会を実施し取り組むことができた。水分摂取量、食事摂取量、運動、排泄等の介護職でもわかるデータを取りながら根拠に基づいて介護を実践することで、認知症の進行や身体機能の維持が出来た方が居る反面、徐々にADLが低下し要介護度が上がって車椅子での生活になってしまった方もいた。次年度も継続して取り組んでいく必要がある。

#### ③求職者から見て魅力ある事業所を目指します

SNSでの情報の発信が月に1回～数回程度となっていたため、担当者を決めることで週1回程度のペースで出来るようになった。SNSで空き状況の情報を発信し、問い合わせを増やすことが出来、入居申込や施設見学に繋がった。派遣職員の定着については、入れ替わりがあったが現在2名が定着して1年以上更新継続されている。また、派遣職員毎の働く事情がそれぞれ異なり、派遣から真光会職員採用に繋がったのは1名のみで留まった。一時的な職員不足はあるものの、有給休暇の取得はできており、年間10日間以上の有給休暇の取得や結婚に伴う特別休暇の取得も行えた。

#### ④利用率95%維持します

重度化予防や感染症に関する勉強会を行いながら、施設内での新型コロナウイルス感染症発症や他の感染症の発症を抑えてきたが、1月29日～2月10日までの間に新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生し、ご利用者5名職員1

名が新型コロナウイルス感染症陽性となった。ご利用者 5 名の症状は軽症であったが、感染隔離による ADL の低下を引き起こし、1 名がその影響から入院に繋がった。その他、4 月と翌年 3 月に転倒骨折から入院、10 月には尿路感染症にて入院者が出て空床を作ってしまう、利用率 95% の維持は出来なかった。10 月より、入所申込や空き状況の問い合わせが増え、11 月には満床となり待機者も 0 名から 2 名と増加した一方、3 月に救急搬送からの退所が 1 名出たことと、特養への施設変更にてさらに 1 名退所となり、現在 2 床空床となった。今後も入院者を出さない様にリスクマネジメントや、新型コロナウイルス等の感染症について勉強会を実施し予防していきけるようにしていく必要がある。

## ア ご利用者の状況

令和 5 年 3 月 31 日現在

性 別	男性 0 名 女性 7 名
平均年齢	90.5 歳 (最高 100 歳、最低 83 歳)
認知症の分類	アルツハイマー型認知症……5 名 レビー小体病………2 名
認知度の程度	Ⅱb……2 名 Ⅲa……3 名 Ⅲb……1 名 Ⅳ……1 名
要介護度	要支援 2……0 名 要介護 3……3 名 要介護 1……1 名 要介護 4……0 名 要介護 2……3 名 要介護 5……0 名 (平均要介護度 2.3)

退居者 4 名 退居日 4/23 10/25 3/7 3/24 3/31

入居者 3 名 入居日 8/17 10/4 11/19

## ウ 月別行事実績

月	行事	月	行事
4 月	おやつ作り「焼き桜餅」 健康診断	10 月	おやつ作り 「芋餅作り」
5 月	母の日のお祝い お弁当	11 月	紅葉狩り (出水ペランダ)
6 月	紫陽花ドライブ (国府公園)	12 月	もちつき
7 月	おやつ作り「冷やしぜんざい」	1 月	初詣 (施設内にて手作り神社)
8 月	かき氷作り	2 月	梅見 (グループホーム庭にて)
9 月	敬老の日お祝い お弁当	3 月	おやつ作り「焼き桜餅」

\*週 1 回訪問歯科

\*3 ヶ月毎 1 回介護相談専門員訪問 中止 \*年 3 回訪問理美容 中止

\*国府公民館サロン毎月第 4 金曜日 (13:30~15:00) 自粛にて不参加

\*9 町内自主防災役員会毎月第 4 金曜日 (19:00~20:30) 自粛にて不参加

## エ 会議実績

事業所会議 毎月第 1 木曜日 (18:00~19:00) \*職員会議の後の (木)

運営推進会議 2 ヶ月に 1 回偶数月第 3 金曜日 (10:00~11:00)

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い書類郵送にて意見交換を実施した。

## 事業所内勉強会等

月	勉強会	月	勉強会
4月	身体拘束委員会・研修	10月	身体拘束委員会・研修
5月	リスクマネジメント	11月	感染症対策
6月	感染対策 洪水避難訓練、消防訓練	12月	接遇・苦情対策委員会 洪水避難訓練、消防訓練
7月	身体拘束委員会・研修	1月	身体拘束委員会・研修
8月	接遇・苦情対策	2月	リスクマネジメント
9月	リスクマネジメント	3月	感染症対策

## 認知症勉強会

月	勉強会	月	勉強会
5月	パーソンセンタードケア	1月	認知症の種類や対応について
8月	自立支援介護	2月	ユマニチュード

## (8) デイサービスセンター出水

### ①評価される接遇を徹底します

挨拶、表情、話し方などの基本的な接遇心掛けた。ご利用者のニーズを全て把握することはできなかったが、ご利用者の意見や感想を尊重することはできた。コロナ禍で見学数が減少傾向にあったが、見学者が利用決定される率を高めることができた。

### ②根拠に基づいた支援を行います

ケアプランに基づいた支援を行い、コロナ禍の中こそできる個別対応で、自立支援の視点から援助を行うことができた。ケアの標準化の更なる定義や発展のために、デイ会議や申し送りや情報共有や学びの場を設けることができた。日々かわる中で得たニーズについても、職員や各関係機関と共有を図り PDCA サイクルを用いて根拠に基づいた支援に努めることができた。

### ③チーム力の向上を図ります

チーム目標を設定し、チームワークの向上を目指すことができた。また、チーム目標を設定する中で、チームの目標だけでなく、価値観を共有していくことが大切だと気付くことができた。

### ④評判を広げることで、利用率を向上させます

各関係機関との連絡を行うことはできたが、SNSでの発信とまではいかなかった。職員も大きく変動があり、利用率を向上させることはできなかった。

## ア 月別利用状況

### (ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308	25.7
月間利用者数	34	33	34	35	32	28	33	33	30	31	31	33	387	32.3
月間延利用者数	326	297	283	290	297	272	286	283	246	241	276	320	3417	285
一日平均利用者数	12.5	11.4	10.9	10.7	11.4	10.5	11	10.9	10.3	10	11.5	11.9	11.1	11.1
利用率	78.4%	71.4%	68.0%	67.1%	71.4%	65.4%	68.8%	68.0%	64.1%	62.8%	71.9%	74.1%	69.3%	69.3%

### (イ) 要介護度別利用状況（延利用人員）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護 1	152	147	142	154	171	160	174	158	128	125	157	185	1853	154.4
要介護 2	74	53	65	68	49	41	36	42	42	42	46	55	613	51.1
要介護 3	53	46	26	27	29	26	28	35	29	29	8	8	344	28.7
要介護 4	4	4	5	1	0	0	0	0	0	0	19	21	54	4.5
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	283	250	238	250	249	227	238	235	199	196	230	269	2864	238.7

### (ウ) 要支援者利用状況（延利用人員）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援 1	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1.1
要支援 2	39	42	41	40	48	45	48	48	47	45	46	51	540	45.0
合計	43	47	45	40	48	45	48	48	47	45	46	51	553	46.1

### (エ) 季節の行事

4月 4/1・2 桜花見ドライブ 4/18 出水カフェ  
 5月 5/5 端午の節句・菖蒲湯 5/9～13 母の日 5/17 出水カフェ  
 6月 6/14～22 父の日 6/15 出水カフェ 6/28 七夕飾り  
 7月 7/7 七夕行事食 7/21 7/21 出水カフェ 7/23 土用の丑の日  
 8月 8/15～18 夏祭り 8/19 出水カフェ  
 9月 9/19・20 敬老の日行事食 9/24 出水カフェ 9/19～21 敬老会  
 10月 10/17 出水カフェ  
 11月 11/10～14 银杏見学ドライブ 11/15 出水カフェ  
 12月 12/19～21・12/24 クリスマス・忘年会 12/22 ゆず湯  
 1月 1/4・5 正月料理 1/4～9 初詣 1/7 七草粥 1/11 鏡開き  
 2月 2/3 恵方巻 2/17 出水カフェ  
 3月 3/3 ひな祭り行事食 3/18 出水カフェ

## イ デイサービスセンター出水における業務の取組み

### ① 送迎

安全に送迎ができるように人員を配置し、ご利用の方が安心して利用できるように状態に合わせた送迎に努めた。認知症の方で自宅での衣類準備や衣類交換など生活介助が必要な方への対応を行った。また送迎時ご自宅の様子を伺い在宅生活が維持できるよう各関係機関との連携に努めた。

### ② 健康チェック

ご利用の方が安心して利用できるように、送迎時には検温を行ないマスクの着用をお願いした。またご来所されてからは、看護職員を中心に利用日毎に健康チェック、状態の把握を行い、体調不良や急変時に対応できる体制を整えてサービスの提供を行った。血圧等のバイタルチェックで再検の場合は職員間で共有し、適宜適切に対応した。また、必要に応じて病院受診の相談や変化時の報告等を行い、ご家族・各関係機関との情報交換を密に行うように努めた。

### ③ 生活相談

ご利用時は自宅での様子や悩み等の把握ができるように、全職員でかわりを多く持ち、ご自宅での生活課題解決のため助言や関係機関との連携を重視した。職員間での情報共有のため日々の申し送りでは内容を濃く、申し送りノートを活用し細かく記載した。

### ④ 機能訓練・運動器機能向上訓練

職員配置の関係で、今年度は機能訓練加算の算定は行わなかったが、集団体操を通し、訓練を行った。また、個別に訓練を要する方へ、個々の状態に合わせ、心身の活性化に努めた。

### ⑤ 日常動作訓練

週ごとにレクリエーションを決め、心身の活性化に努めた。個別レクリエーションでは脳トレ、作業療法、歌活動、身体活動等をご利用者自身で選択し、生きがいづくりや日々の楽しみとなるよう支援した。またできる能力維持のため、レクリエーション以外でも生活リハビリの視点で自立支援に努めた。

### ⑥ 食事

ご利用者の状態や希望に沿った食形態・代替食等で提供を行えるよう調理師と連携に努めた。デイサービスでの食事を楽しみにしていただけるよう、食事が楽しみになるような工夫や出水カフェ、行事食を行った。ご利用者の希望されるメニューの聞き取りにも力を注いだ。

### ⑦ 養護

静養室にベッドを確保し状態に合わせ静養時間を設けた。病気の影響、体力の低下や心配がある方は看護職員や各関係機関と相談し、適切に対応した。また、メドマー・マッサージ機など物理療法を活用し、気分転換できるように努めた。

### ⑧ 入浴

入浴中の病院受診を必要とする大きな事故は無かった。ご利用者の入浴動作維持のため自立支援の視点で、入浴計画書や通所介護計画書と連動し、できる動作やできない動作の見極めを行い、過介助にならないよう徹底した。今年度も月に一度を入浴剤週間とし好評だった。

## ウ その他

### ① 地域との関わり・PR活動

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で白山7・9町内サロンへの参加は担当の月以外は自粛させていただいた。また運営推進会議も感染拡大防止のため、6・12月に書面にてお願いをさせていただくなど、地域との関わりについて影響が出た一年だった。来年度はサロン以外でも通所サービスに求められる役割が増えたため、全てをスムーズに対応するべく準備を進めていく。

## ②書類関係

ケアプランに基づいた目標を立て、援助・評価ができるように努めた。毎月1回評価を兼ね担当ケアマネジャーへ報告を行った。

## ② 会議等

毎日、朝夕に、ご利用者情報の共有を密に行い職員間のケアの標準化や統一を図った。月1回のデイサービス会議では、実績、ご利用者情報の共有、行事の確認、法令や介護保険についての学び、接遇、利用率向上の学び、認知症の勉強会などを行った。法人内研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出水事業所内にてリモートで実施した。リモートは職員会議でも活用したが、移動時間が無くなるため大変効率的で、生産性向上に繋がった。

## (9) 三和苑デイサービスセンター

### ①接遇の基本に立ち返ります

基本の挨拶、言葉遣いを定期的に自身で評価し、振り返りを行った。初心を忘れずにご利用者に対する言葉遣いや対応を行うことで安全・安心に繋がり、信頼関係の維持にも繋がった。身だしなみや表情、態度にも職員間で注意していった。職員間で、思考や感情、意思、価値観などを言葉で具体的に伝え合い、お互いにわかり合おうとすることを大切にする事で良好なチーム作りとなった。チーム力の大切さ、コミュニケーションの重要性を再認識し、接遇の良し悪しで自分が事業所の評価に繋がることを念頭に置きつつ、継続できるよう努めた。

### ②ユマニチュードを基本とし、寄り添いながら支援を行います

ユマニチュードの関わり方を常に意識したケアを行い、パーソン・センター度ケアについて学び直す。「見る・触れる・立つ・話しかける」の基本を大切にし、ご利用者の機能維持や心身の回復・維持へと繋がった。認知症利用者に対するケアで困難な場合は、早期に話し合いを設け、尊厳を守ることを意識できたのではないと思う。言葉でのコミュニケーションのみだけではなく、まだまだ不十分ではあるが、相手を思う気持ち、寄り添う気持ち、人間力、ケア力向上に努める等、常に目標を持ち続けることが、ご利用者満足度向上につながると感じた。勿論、知識や技術の向上も必要だが、精神性に趣を置く支援を忘れずに今後も続けたい。

### ③業務負担の軽減を図ります

各業務の内容を再検討、ご利用者に合わせた介護方法を見直しながら、情報の共有を行った。(デイ会議・朝夕の申し送り時)安全に、統一したケアを行う事で、問題の解消へと繋がることが職員の負担の軽減にも繋がった。会議でリスクの検討を行う事で、問題の早期発見・解消にも繋がった。ご利用者、全職員(腰痛予防、運動不足解消)を交えラジオ体操も継続している。

職員は、リスクマネジメントに心がけ、その日のご利用者の心身状態を把握し、状態に合ったケアを行い、事故、転倒が起きないように努めた。ヒヤリハ

ット32件、事故（インシデント）は、1件となった。

新型コロナウイルス対策の業務を継続している中で、定期的に話し合いをしながら今後も感染対策を継続していく。

#### ④前年度以上の利用率の向上を目指します

寄り添うケアを実施し、関りを重点的に考え、利用者満足度の向上を視野に入れたケアに繋がった。ご利用者の安定した利用の定着と認知症に伴う問題の解消に努めた。人によってそれぞれ違う居心地があり、人と人の触れ合いが精神的な作用を生み、様々な感情がでてくる。感情へ働きかけること、ユマニチュードの実践、傾聴することで職員との関係づくりができた。プランを立て実行し、上手くいかなかったらまた再検討し、改善に繋がるまで試行錯誤を繰り返し、ケアが定着するまで取り組んだ。新たなアクティビティ活動を取り入れる事で既存のサービスの充実、意欲の向上を図った。このことが、ご利用者の心身の活性化と満足度へと繋がり、また、職員のマンネリの防止・モチベーション維持にも繋がった。

### ア 月別利用状況

#### (ア) 全対象者合計利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310	25.8
月間利用者数	56	56	54	51	49	54	58	58	55	50	51	54	646	53.8
月間延利用者数	528	641	646	596	570	573	629	652	570	511	532	615	7063	652.6
一日平均利用者数	20.3	24.7	24.8	22.9	21.1	22.0	24.2	25.1	21.9	21.3	22.2	22.8	22.8	22.8
利用率	67.7%	82.2%	82.8%	76.4%	70.4%	73.5%	80.6%	83.6%	73.1%	71.0%	73.9%	75.9%	75.9%	75.9%

#### (イ) 要介護度別利用状況（延利用人員）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要介護1	237	318	296	266	268	308	336	331	298	253	249	274	3434	286.2
要介護2	136	149	186	172	158	138	135	152	126	112	124	152	1740	145.0
要介護3	82	84	75	104	79	62	86	96	71	61	78	109	987	82.3
要介護4	19	25	26	0	0	0	7	12	19	39	35	28	210	17.5
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	474	576	583	542	505	508	564	591	514	465	486	563	6371	530.9

#### (ウ) 介護予防対象者利用状況（延利用人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
事業対象者	5	6	7	6	7	6	6	6	0	0	0	0	49	4.1
要支援1	27	32	22	24	31	27	24	22	23	17	16	18	283	23.6
要支援2	22	27	34	24	27	32	35	33	33	29	30	34	360	30.0
合計	54	65	63	54	65	65	65	61	56	46	46	52	692	57.7

### イ 三和苑デイサービスセンターにおける業務の取り組み

#### ① 送迎

各ご利用者の心身の状態や、ご家族の意向を考慮しながら、安全で快適に

送迎できるように努め、効率よく配車し時間の調整を図りながら送迎を行った。乗車前の検温、消毒、換気を行う。

(送迎地域・・・城山、中島、池上、高橋、小島、松尾、春日、川尻、南高江、白藤の各校区)

ご家族にも協力を求め、乗車時の検温、消毒、換気、マスク着用の徹底を行うことで新型コロナウイルス感染症に対しての対応策を行う。

## ② 健康チェック

血圧・体温・脈拍を測り、その日の健康状態を把握して日中の様子を観察した。異常がある場合は早期対応を心がけ、ベッドで静養したり、急変時には病院受診する等の処置を行った。

## ③ 運動器機能向上訓練・機能訓練

ストレッチ(セラバンド、タオル体操は道具を使う為中止)、平行棒、バランスマット、マシン、TV体操、散歩による上下肢運動等それぞれに応じた訓練を行い、身体の筋力と柔軟性の維持、向上を図った。また、頭の体操や作業療法も取り入れ、心身の活性化に繋げた。城山公園の散歩も継続して行う。散歩の参加人数も多くなり対応策を考え安全や安心に繋がり行えた。

## ④ レクリエーション・余暇活動

心身の活性化を図る目的として趣向を凝らした活動を行い、ご利用者に飽きのこない楽しい活動になるよう行った。また活動を通じて交流も図った。密にならないようレクリエーションを大幅に変更し、試行錯誤しながら行う。季節の行事では、その月に応じた活動を行うが、花見ドライブも状況を見て判断し、自粛せざるを得なかった。個別のレクを行い、密を避けた。また、気候をみながら外での日向ぼっこと季節に応じたレクや余暇活動を行った。(梅、桜、藤の花、紅葉ドライブ・父母の日・夏祭り・敬老会・もちつき等)

## ⑤ 食事

食前の口腔体操を行い(なるべく発声は控える)、手洗い、手指消毒、パーテーションの設置をし、個々の心身状態や嗜好に応じた食形態を提供し、嚥下や食事量にも注意し、誤嚥がないよう見守りに努めた。おやつ作りも月1回行った。食事形態の検討や注文のミス等がなくなるよう検討し対応に努めた。

## ⑥ 入浴

湯あたりや転倒、容態急変等に注意し、安全に快適に個々の心身状態に応じてその人に合った入浴介助を行い、清潔保持に努めた。また、密にならないよう配慮し、消毒を行いながら実施した。湯あたりも2件発生。

## ⑦ 養護・物理療法・マッサージ

ベッドや畳の上でゆったり心地良く休めるように環境を整え、マイクロ波やメドマ、マッサージ機等の物理療法を行った。また、身体のマッサージを行い、首、肩、腰等、筋肉をほぐし安楽を図った。

## ⑧ 相談

個々のご利用者が抱えている悩みについて傾聴し、問題がある場合はご家族、居宅や包括と連携して早期の問題解決に努めた。

## ⑨ 事務・書類等の処理

介護保険請求は実績・単位数等をよく確認して行き、他事業所との連携でミスがないよう行った。介護計画書の作成は担当者会議に参加した職員が作



成し、ケアプランとして各職員が情報を共有し、現場で反映するように行った。また、他の書類も役割分担をして、各自の責任のもと書類を作成した。職員の事務的な負担を少しでも軽減する為、ご利用者となるべく関わる時間を設ける為、パソコンでの作業を少しずつ取り入れてきた。書類の整理にも時間を要した。

⑩ その他

朝夕にミーティングを行い、その日の日程や役割の確認や、問題点や改善点などを全員で話し合い、情報を共有してチームワークによるスムーズな業務の遂行と問題解決に繋げた。役割の細分化を行い、ミスの防止に努めた。また、三和苑の理念である安全・安心・信頼を伝え、職員一人ひとりの介護サービスの質の向上を考える機会となった。また、新型コロナウイルス感染症予防対策（換気、マスクの定着、手指消毒、共有部の消毒）を徹底した。現在もボランティアは、お断りしている。

今後は、ボランティアの受け入れも行っていくが、現状次第で対応策を考えていく。

## 5. 事務部

(1) 接遇教育の充実を図り、接遇の向上を目指します

接遇の基本である「言葉遣い」「態度」「身だしなみ」の3要素を全職員が身に付けられるように、毎月接遇向上に向けた記事を作成し、事務所通信に掲載した。新型コロナウイルスの感染予防もあり、接遇研修の実施には至らなかった。

(2) 施設設備の適切な管理・整備に努めます

サービスに支障を来さないように、今年度は小荷物専用昇降設備やボイラー設備、三和苑デイサービスセンターの空調設備等の更新を行った。来年度以降に計画している自家発電設備や出水事業所の空調設備等の更新についても、概算額等の調査を進めながら、整備計画を進めている。

(3) ホームページを充実させ、求職者から見た法人イメージの向上を図ります

ホームページと求人サイトを紐づけることで、求職者数アップに努めた。今年度は新しい求人サイトの利用や、専門学校や高校などをまわるなど採用活動にも力をいれ、新卒採用や中途採用者の獲得にも繋がった。

(4) 法人・事業所の経営状況を的確に把握し、全職員に分かりやすく周知して

いきます

収入及び支出の状況を四半期ごとに年4回全職員に周知し、経営参画の意識レベルの向上に努めた。令和4年度は新型コロナウイルスのクラスターも発生してしまい、収支バランスの改善には至らなかった。

6. 災害対策・安全衛生管理・設備保守点検

目標	具体的目標	項目	拠点	実績												備考			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
災害対策	①	防災教育	①防災教育	全体												3/23			
	②	防災訓練	①火災	全体						9/21						3/13	夜間：3月		
			②地震 ③風水害													3/13			
安全衛生管理	①	浴場機器管理	① 循環浴ろ過装置機器点検	三和荘	4/21			7/31				10/17			1/22				
			② 温水ヒーター機器点検				7/31												
			③ 循環浴配管洗浄				7/31												
			④ 循環浴ろ過装置オーバーホール(1回/3年毎)													※R5年度予定			
	⑤	井戸水衛生管理	① 浄水水質検査(50項目検査・9項目検査)	三和荘	4/4	5/6	6/3	7/8	8/2	9/6	10/3	11/1	12/2	1/5	2/2	3/6	6月9月12月3月：50項目 39+指標値		
			② 原水水質検査																
			③ 浴場レジオネラ菌水質検査(特養)			5/6												3/6	
			④ 井戸水ろ過装置機器点検		4/4	5/6	6/3	7/8	8/2	9/6	10/3	11/1	12/2	1/5	2/2	3/6	※R7年度(2025年度)予定		
⑥	給排水設備管理	① 受水槽・ポンプ点検	三和荘												2/9				
		② 受水槽清掃														2/9			
⑦	電気保安管理	① 保安点検	三和荘												2/9				
															2/9				
⑧	定期清掃	① ワックス掛け(特養)	三和荘	4/4	5/6	6/7	7/8	8/5	9/5	10/5	11/4	12/8	1/7	2/11	3/4	10/16:総合点検			
設備保守管理	①	消防設備	① 定期点検	三和荘				7/5							2/10				
			出水	三和苑	4/6		5/23						12/22				○機器点検 ◎総合点検		
	②	建築設備	① 建築設備定期検査	三和荘			6/9				10/4								
			② 特殊建築物定期検査(1回/3年毎)	三和荘			6/9												
	③	防火対象物	① 防火対象物点検	三和荘			6/9												
	④	エレベーター設備	① 機器点検	三和荘	4/14			7/22			10/7			1/18	3/14				
			出水		4/16			7/6			10/2			1/18			○保守点検 ◎法定点検		
	⑤	リフト設備	① 機器点検	三和荘	4/14	5/24	6/6	7/22	8/19	9/5	10/7	11/9	12/6	1/18	2/17	3/14	○保守、◎法定		
	⑥	空調設備	① 機器点検	三和荘		5/19					10/13					◎保守点検			
	⑦	浄化槽維持管理	① 定期点検	三和荘	1.15	4.20	1.16	1.16	2.16	2.16	1.14	2.17	1.16	4.18	1.16	2.16	○保守		
② 法定検査			三和荘													3/4・13			
⑧	厨房機器点検	① 機器点検	三和荘		5/27						10/26								
		出水				6/29							1/24			◎保守点検			
⑨	防災カーテン	① 定期クリーニング	三和荘											2/23					
			出水													随時対応			
			三和苑													随時対応			

## 7. 職員研修の状況

### (1) 法人内研修

令和4年度

#### 【法人内研修】

実施日	研修内容	参加人数
R4.4.28	令和4年度運営方針・事業計画・予算 リスクマネジメント研修	60名
R4.5.26	救急蘇生法「感染予防を踏まえた救急救命法」 感染症「高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防」	58名
R4.6.23	令和3年度取組研究発表(前半)7事業所	62名
R4.9.22	令和3年度取組研究発表(後半)6事業所	57名
R4.10.27	高齢者の権利擁護 事故防止 令和3年度決算報告	60名
R4.11.24	OJTのあり方 高齢者施設における新型コロナウイルス感染対策	55名
R5.2.23	虐待 身体拘束 リスクマネジメント	56名
R5.3.23	令和5年度運営方針・事業計画 予算 防災教育(災害リスクの把握・防災情報の入手方法)	54名

※7月・8月・12月・1月:新型コロナウイルス感染予防のため中止

#### 【主任研修】

実施日	職員	内容
R4.10.25	永田 中津 伊藤 串山 北村 泉	OJTの在り方:グループワーク

#### 【副主任研修】

実施日	職員	内容
R4.10.18	高瀬 大川 橋本 青木 高江洲 末富 勝山 池田	職場における指導方法・OJT研修

### (2) その他の研修

#### 【特別養護老人ホーム三和荘】

日付	研修名	参加者名	職種
6月7日	熊本市老人福祉施設協議会研修「自立支援介護の理解と実践」	笠原直子	生活相談員
6月7日	熊本市老人福祉施設協議会研修「自立支援介護の理解と実践」	井手文子	介護支援専門員
6月7日	熊本市老人福祉施設協議会研修「自立支援介護の理解と実践」	安富貴子	管理栄養士
6月7日	熊本市老人福祉施設協議会研修「自立支援介護の理解と実践」	宮内麻衣	介護職員
7月16日	介護現場におけるハラスメントについて	鳥居あゆみ	介護職員
9月30日	福祉職場OJT推進研修会	鳥居あゆみ	介護職員
9月30日	福祉職場OJT推進研修会	宮内麻衣	介護職員
11月18日	日本重度化予防ケア推進協議会設立説明会	高瀬直人	機能訓練指導員
11月19日	技能実習指導者講習	出口美恵	介護支援専門員
12月4日	福祉サービス苦情解決研修会	笠原直子	生活相談員
2月9日	技能実習指導者講習	永田健司	介護職員
2月14日	介護分野における生産性向上推進フォーラム	高瀬直人	機能訓練指導員
2月27日	介護ロボットを導入する際の機器の選び方～現場とのギャップを最小限にするために～	光塚希	介護職員
3月10日	安全介護セミナー「原因不明の傷・アザ・骨折への対応策」	笠原直子	生活相談員
3月13日	技能実習指導者講習	光塚希	介護職員
3月14日	ミタカ福祉機器展	高瀬直人	機能訓練指導員
3月23日	技能実習指導者講習	串山靖明	介護職員
3月24日	熊本でのノーリフティングケア推進の説明会	高瀬直人	機能訓練指導員
4月より隔月	排泄ケア(全6回)	大川洋江	看護職員

【三和在居宅介護支援事業所】

日付	研修名	参加者名	職種
5月18日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	橋本順子	介護支援専門員
5月18日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	本田久美	介護支援専門員
5月18日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	川上峰子	介護支援専門員
7月12日	自立支援型地域ケア会議とは	橋本順子	介護支援専門員
7月12日	自立支援型地域ケア会議とは	本田久美	介護支援専門員
7月12日	自立支援型地域ケア会議とは	川上峰子	介護支援専門員
7月13日	介護現場におけるハラスメントについて	橋本順子	介護支援専門員
7月13日	介護現場におけるハラスメントについて	本田久美	介護支援専門員
7月13日	介護現場におけるハラスメントについて	川上峰子	介護支援専門員
7月14日	R4年度自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ専門職派遣事業研修会	橋本順子	介護支援専門員
8月19日	医療との連携 高齢者の排便障害について	橋本順子	介護支援専門員
8月19日	医療との連携 高齢者の排便障害について	本田久美	介護支援専門員
8月19日	医療との連携 高齢者の排便障害について	川上峰子	介護支援専門員
8月24日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	橋本順子	介護支援専門員
8月24日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	本田久美	介護支援専門員
9月10日	本人と家族の関係に対するケアマネジメントの視点について	橋本順子	介護支援専門員
9月10日	本人と家族の関係に対するケアマネジメントの視点について	本田久美	介護支援専門員
10月15日	本人と家族の関係に対するケアマネジメントの視点について	橋本順子	介護支援専門員
10月15日	本人と家族の関係に対するケアマネジメントの視点について	本田久美	介護支援専門員
10月26日	オーラルフレイル予防研修会	橋本順子	介護支援専門員
11月14日	対人援助のための相談面接技術	橋本順子	介護支援専門員
11月16日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	橋本順子	介護支援専門員
11月16日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	本田久美	介護支援専門員
11月16日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	川上峰子	介護支援専門員
12月1日	医療との連携 緩和ケアについて	橋本順子	介護支援専門員
12月1日	医療との連携 緩和ケアについて	本田久美	介護支援専門員
12月1日	医療との連携 緩和ケアについて	川上峰子	介護支援専門員
12月2日	キャラバンメイト フォローアップ研修	本田久美	介護支援専門員
12月15日	主治医とケアマネジャーとの連携 ACPについて	橋本順子	介護支援専門員
12月15日	主治医とケアマネジャーとの連携 ACPについて	本田久美	介護支援専門員
12月15日	主治医とケアマネジャーとの連携 ACPについて	川上峰子	介護支援専門員
1月13日	西区高齢者虐待対応オンライン研修	橋本順子	介護支援専門員
1月13日	西区高齢者虐待対応オンライン研修	川上峰子	介護支援専門員
1月23日	R4年度自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ専門職派遣事業研修会	橋本順子	介護支援専門員
1月23日	R4年度自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ専門職派遣事業研修会	本田久美	介護支援専門員
2月9日	高齢者の口腔健康管理と栄養評価について	橋本順子	介護支援専門員
2月9日	高齢者の口腔健康管理と栄養評価について	本田久美	介護支援専門員
2月9日	高齢者の口腔健康管理と栄養評価について	川上峰子	介護支援専門員
2月15日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	橋本順子	介護支援専門員
2月15日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	本田久美	介護支援専門員
2月15日	特定事業所加算に伴う 他法人居宅介護支援事業所との合同勉強会	川上峰子	介護支援専門員
2月17日	事例から学ぶ成年後見人制度	橋本順子	介護支援専門員
2月17日	事例から学ぶ成年後見人制度	本田久美	介護支援専門員
2月17日	事例から学ぶ成年後見人制度	川上峰子	介護支援専門員
2月28日	ケアプラン点検結果報告 介護保険制度の動向に関する研修について	橋本順子	介護支援専門員
2月28日	ケアプラン点検結果報告 介護保険制度の動向に関する研修について	本田久美	介護支援専門員
2月28日	ケアプラン点検結果報告 介護保険制度の動向に関する研修について	川上峰子	介護支援専門員
3月3日	BCP策定フォローアップ相談	橋本順子	介護支援専門員
3月3日	BCP策定フォローアップ相談	川上峰子	介護支援専門員
3月9日	介護BCP作成セミナー	橋本順子	介護支援専門員
3月17日	2024 介護保険制度改正はこう変わる	橋本順子	介護支援専門員
3月17日	2024 介護保険制度改正はこう変わる	本田久美	介護支援専門員
3月17日	2024 介護保険制度改正はこう変わる	川上峰子	介護支援専門員
3月31日	医療と介護との連携における意見交換会	橋本順子	介護支援専門員
3月31日	医療と介護との連携における意見交換会	本田久美	介護支援専門員
3月31日	医療と介護との連携における意見交換会	川上峰子	介護支援専門員
9/20~10/1	介護支援専門員更新研修「実務経験者・2回目以降」	本田久美	介護支援専門員
9/22~10/2	介護支援専門員更新研修「実務経験者・2回目以降」	川上峰子	介護支援専門員

【熊本市西1地域包括支援センター】

日付	研修名	参加者名	職種
4月15日	包括事務連絡会	和泉翔大	管理者・社会福祉士
4月15日	包括事務連絡会	平野公大	生活支援コーディネーター
6月6日	自立支援型地域ケア会議 研修	伊藤千春	主任介護支援専門員
6月10日	広域支援センター研修会	平野公大	生活支援コーディネーター
6月14日	包括初任者研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
6月14日	包括初任者研修	平野公大	生活支援コーディネーター
6月17日	熊本県高齢者権利擁護基礎研修会	和泉翔大	管理者・社会福祉士
6月17日	熊本県高齢者権利擁護基礎研修会	平野公大	生活支援コーディネーター
7月14日	リハビリテーション専門職派遣事業研修	上妻美穂	介護支援専門員
9月8日	ギャンブル依存症研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
9月8日	ギャンブル依存症研修	平野公大	生活支援コーディネーター
9月13日	介護予防・地域ケア会議研修会	上妻美穂	介護支援専門員
9月20日	熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
9月20日	熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修	矢野鈴奈	保健師
9月20日	熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修	平野公大	生活支援コーディネーター
9月20日	熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修	吉村志子	介護支援専門員
10月14日	生活支援コーディネーター養成研修（基礎編）	和泉翔大	管理者・社会福祉士
10月14日	生活支援コーディネーター養成研修（基礎編）	平野公大	生活支援コーディネーター
10月19日	熊本県 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修（1日目）	和泉翔大	管理者・社会福祉士
10月19日	熊本県 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修（1日目）	平野公大	生活支援コーディネーター
10月20日	熊本県 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修（2日目）	和泉翔大	管理者・社会福祉士
10月20日	熊本県 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修（2日目）	平野公大	生活支援コーディネーター
10月29日	包括ネット研修「高齢虐待対応及び虐待対応フロー」	平野公大	生活支援コーディネーター
11月7日	生活支援コーディネーター研修（実践編）	和泉翔大	管理者・社会福祉士
11月7日	生活支援コーディネーター研修（実践編）	平野公大	生活支援コーディネーター
11月9日	アルコール依存症医療連携に係る研修会	伊藤千春	主任介護支援専門員
11月9日	アルコール依存症医療連携に係る研修会	平野公大	生活支援コーディネーター
12月6日	「食のちからで地域を豊かに、事例から考える『食』のアクションプラン」	平野公大	生活支援コーディネーター
12月10日	難病在宅療養支援者研修会	矢野鈴奈	保健師
12月16日	熊本市西区地域連携ミーティング（研修）	和泉翔大	管理者・社会福祉士
12月16日	熊本市西区地域連携ミーティング（研修）	平野公大	生活支援コーディネーター
1月13日	西区虐待対応研修	和泉翔大	社会福祉士
1月13日	西区虐待対応研修	伊藤千春	主任介護支援専門員
1月13日	西区虐待対応研修	矢野鈴奈	保健師
1月13日	西区虐待対応研修	平野公大	生活支援コーディネーター
1月13日	西区虐待対応研修	上妻美穂	介護支援専門員
1月13日	西区虐待対応研修	吉村志子	介護支援専門員
1月13日	西区虐待対応研修	樋口阿弥子	介護支援専門員
1月20日	高齢者権利擁護対応向上研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
1月20日	高齢者権利擁護対応向上研修	平野公大	生活支援コーディネーター
1月23日	リハビリテーション専門職派遣事業研修	伊藤千春	主任介護支援専門員
1月23日	リハビリテーション専門職派遣事業研修	上妻美穂	介護支援専門員
1月24日	熊本市高齢者虐待対応研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
1月24日	熊本市高齢者虐待対応研修	平野公大	生活支援コーディネーター
1月31日	ハンセン病研修	矢野鈴奈	保健師
2月7日	人材評価実践研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
2月14日	チャレンジささえりあ	矢野鈴奈	保健師
2月14日	チャレンジささえりあ	平野公大	生活支援コーディネーター
2月16日	人材育成研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
2月21日	ギャンブル依存症研修	矢野鈴奈	保健師
2月21日	ギャンブル依存症研修	平野公大	生活支援コーディネーター
2月22日	成年後見制度研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
2月22日	成年後見制度研修	平野公大	生活支援コーディネーター
2月22日	熊本県認知症コールセンター事例検討会	樋口阿弥子	介護支援専門員
2月22日	熊本県認知症コールセンター事例検討会	吉村志子	介護支援専門員
2月24日	熊本県ひきこもり支援者研修会	平野公大	生活支援コーディネーター
2月24日	キャラバンメイト研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
2月27日	成年後見制度利用促進研修会	和泉翔大	管理者・社会福祉士
2月28日	ケアプラン点検と介護保険制度の今後の動向	伊藤千春	主任介護支援専門員
2月28日	ケアプラン点検と介護保険制度の今後の動向	上妻美穂	介護支援専門員
3月9日	キャラバンメイト研修	和泉翔大	管理者・社会福祉士
3月10日	熊本県地域支援人材育成研修	平野公大	生活支援コーディネーター

【三和荘訪問介護事業所】

日付	研修名	参加者名	職種
7月13日	介護現場におけるハラスメントについて	後藤きよみ	訪問介護事業責任者・介護職員
7月13日	介護現場におけるハラスメントについて	松田佳代	サービス提供責任者・介護職員
8月19日	高齢者の排泄障害について	後藤きよみ	訪問介護事業責任者・介護職員
8月19日	高齢者の排泄障害について	松田佳代	サービス提供責任者・介護職員

【三和荘ケアハウス】

日付	研修名	参加者名	職種
10月20日	地域共生社会における軽費老人ホーム・ケアハウスの個別支援計画について	米良愛里	生活相談員
12月4日	福祉サービス苦情解決研修会(オンライン研修)	米良愛里	生活相談員

【三和苑デイサービスセンター】

日付	研修名	参加者名	職種
12月15日	防火管理講習会	泉 宣行	管理者
12月16日	防火管理講習会	泉 宣行	管理者

【グループホーム出水】

日付	研修名	参加者名	職種
5月～7月 (12日間)	熊本県介護支援専門員更新研修【実務経験者・初回】	瀧本大介	管理者

【事務】

日付	研修名	参加者名	職種
7月26日	令和4年度社会福祉法人労務研修会(オンライン)社会福祉法人の今後の法改正について	白石幸大	出納員
9月12日	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会及び人権同和問題に関する事業主等研修会	黒田修代	事務員
11月2日	労働契約等解説セミナー	黒田修代	事務員
11月22日	労働契約等解説セミナー	白石幸大	出納員
12月19日	福祉人材採用力向上セミナー2022	黒田修代	事務員
1月25日	社会福祉法人会計基準実践的決算講習	萱野瞳	事務員
1月25日	社会福祉法人会計基準実践的決算講習	平川美桜里	事務員
2月7日	令和4年度社会福祉法人労務研修会「社会福祉法人における人事評価実践研修」	白石幸大	出納員
2月7日	令和4年度社会福祉法人労務研修会	白石幸大	出納員
2月16日	令和4年度福祉関連施設事業所セミナー	白石幸大	出納員
3月24日	技能実習生生活指導員講習	萱野瞳	事務員

【第三者委員】

日付	研修名	参加者名
2月	第三委員研修会「一方的な苦情への対応について」	由川一夫

**【施設長】**

日付	研修名
5月31日	令和4年度熊本県軽費・ケアハウス協議会総会
6月7日	高等学校と企業の意見交換会
6月17日	高齢者施設のパワーハラスメント対策-パワハラ撲滅は重要な経営戦略-
6月29日	熊本市老人福祉施設協議会総会
7月20日	令和4年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）
10月31日	高齢者施設等での新型コロナウイルス感染対策～日常を取り戻す社会に対応するために～
11月25日	令和4年度オンライン予防研修第2回
12月8日	令和4年度熊本県老人福祉施設協議会第2回総会
2月1日	令和4年度熊本県老人福祉施設協議会施設長会議
2月8日	令和4年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）
2月10日	熊本市老人福祉施設協議会 施設長・事務長研修会
2月15日	令和4年度カントリーミーティング（九州・関東ブロック）
2月24日	熊本市老人福祉施設協議会総会
3月1日	介護現場における生産性向上推進フォーラム
3月2日	令和4年度第3回 熊本県老人福祉施設協議会総会
3月10日	虐待の疑いにつながる原因不明の傷・アザ・骨折への対応策—家族が納得する調査報告とは？
3月15日	熊本県社会福祉法人経営者協議会令和4年度第2回総会
3月15日	熊本県社会福祉法人経営者協議会令和4年度経営者セミナー
	令和4年度九州老人福祉施設職員研究WEB大会（沖縄大会）
	施設入所・退所時の事務手続き等対応研修 オンデマンド動画配信